

公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 令和7年度事業報告書

公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団は、市民の自主的で創造的な文化芸術活動及びスポーツ活動を支援・促進し、豊かな地域文化の形成と発展に寄与するために、文化芸術・スポーツの向上及び振興を図る次の事業を実施しました。

公益目的事業1 芸術文化の振興を目的とする事業

1 文化会館事業

(1) 市民文化創造育成事業

市民の自主的で創造的な文化活動を支援し、併せて人材育成のための事業を実施しました。

(2) 芸術文化鑑賞事業

幅広いジャンルから、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を市民に提供しました。

(3) 文化会館管理運営事業

茅ヶ崎市民文化会館の指定管理者として施設の貸出及び管理運営業務を実施しました。

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業・関連催事・研修講座等を実施

優れた美術・芸術文化の鑑賞機会を提供するための企画展・収蔵作品を活用した展覧会などを開催し、また地域の学校や芸術団体と連携した展示事業などを実施しました。

(2) 講座・ワークショップ事業

学習講座やワークショップなどを開催し、美術・芸術文化に親しむ機会を市民に提供しました。松籟庵においては、茶室・書院という建物の特性を生かし、我が国の伝統文化の紹介などを中心に講座・ワークショップなどを実施しました。

(3) 美術館・松籟庵管理運営事業

茅ヶ崎市美術館及び茶室・書院「松籟庵」の指定管理者として施設の貸出及び管理運営業務を実施しました。

公益目的事業2 スポーツによる健康増進及びスポーツの振興を目的とする事業

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

スポーツを楽しみながら、健康で文化的な生活が送れるように各種の健康運動教室及びスポーツ教室等を開設するほか、年齢、障害の有無等に関係なく実践できるスポーツ体験行事を実施して、スポーツに親しむ機会を市民に提供しました。

(2) スポーツ施設管理運営事業

茅ヶ崎市総合体育館、茅ヶ崎市体育館、茅ヶ崎公園野球場、茅ヶ崎公園庭球場、芹沢スポーツ広場蹴球兼野球場・庭球場、堤スポーツ広場多目的球技場・庭球場、柳島しおさい公園の指定管理者として施設の貸出及び管理運営業務を実施しました。

収益目的事業 1 物品販売事業

主に総合体育館利用時に必要な物品等を販売し、利用者の利便向上を図りました。

収益目的事業 2 公益目的外施設貸与事業

主に茅ヶ崎市民文化会館における公益目的外使用に対する施設の貸出及び管理運営業務を実施しました。また、より多くの利用者の皆様にご利用いただき収益を上げるとともに、利便やサービスの向上を図りました。

実施事業一覧

公益目的事業 1

1 文化会館事業

(1) 市民文化創造育成事業

全10事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	伝統芸能講座 チャレンジ！こども日本舞踊講座 和の作法や浴衣の着方を学び、日本舞踊を通じて日本文化・伝統文化に親しむ小・中学生対象の日本舞踊講座。グローバル化の中で自国の文化への理解を深め、次世代への継承、発展につなげる。最終日には保護者を招き成果発表を行う。（公社）日本舞踊協会 神奈川県支部との共催事業。 ※参加費は日本舞踊協会神奈川県支部に帰属します。		開催方法	共催	共催	総評	改善継続	
			会場	練習室1 兼ミニホール ほか	練習室1 兼ミニホール ほか	第一線で活躍する日本舞踊家によるワークショップを実施。最終日には大ホールで成果発表し、子どもたちが普段体験できない日本の伝統文化を体験・発表ができる場とした。発表会では保護者の観覧機会を設けることで、事業への理解を図った。		
			開催日or回数	8～9月～各6回	9/6～10/4全6回			
			人数	講座延べ90	講座延べ81			
			参加料	6,000	6,000			
			参加料収入	0	0			
		その他収入	0	0				
メインターゲット	小・中学生	支出	344,000	354,578	計画比	B		
ジャンル	伝統芸能	差額	-344,000	-354,578	予算比	B		
2-1	キッズ応援☆プログラム公演【演劇】 『わたしのねがい』（デンマーク） 未就学児入場可能で肩の力を抜いて親子で楽しめる公演。次代を担う子どもたちが感受性豊かな時期に本物の文化芸術を体験し多彩な表現に触れる事で豊かな心を育む機会を提供する。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	ミニ/小ホール	ミニホール	①おとな ②子ども デンマークのカンパニーによるノンバーバルで多彩なパフォーマンス溢れる舞台を開催。終演後には出演者と子どもたちとの交流の場を設け、異文化と直接触れられる場とした。		
			開催日	8月	7月22日(火) 23日(水)			
			入場者数	120	133			
			入場料金	①1500/②500	①1500/②500			
			入場料収入	65,000	115,500			
		その他収入	0	0				
メインターゲット	親子	支出	976,500	1,366,330	計画比	A		
ジャンル	演劇	差額	-911,500	-1,250,830	予算比	B		
2-2	キッズ応援☆プログラム公演【演劇】 『ソカマ〜とき〜』（ザンベーク/フランス） 未就学児入場可能で肩の力を抜いて親子で楽しめる公演。次代を担う子どもたちが感受性豊かな時期に本物の文化芸術を体験し多彩な表現に触れる事で豊かな心を育む機会を提供する。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	ミニ/小ホール	大ホール舞台上	①おとな ②子ども 舞台上に特設舞台/客席を設置した特別の空間で繰り上げられるソロ・ジャグリング・パフォーマンスを実施。アフリカのリズムにのせたパフォーマンスに子どもたちは釘付けとなった。終演後は出演者と子どもたちとの交流の場を設け、異文化と直接触れられる場とした。		
			開催日	8月	7月30日(火) 31日(水)			
			入場者数	120	159			
			入場料金	①1500/②500	①1500/②500			
			入場料収入	65,000	143,000			
		その他収入	0	0				
メインターゲット	親子	支出	976,500	1,320,015	計画比	A		
ジャンル	演劇・パフォーマンス	差額	-911,500	-1,177,015	予算比	B		
2-3	キッズ応援☆プログラム公演【演劇】 『さあ！』（フランス） ※NHK公開収録を計画変更 未就学児入場可能で肩の力を抜いて親子で楽しめる公演。次代を担う子どもたちが感受性豊かな時期に本物の文化芸術を体験し多彩な表現に触れる事で豊かな心を育む機会を提供する。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	小ホール	小ホール	①おとな ②子ども フランスのカンパニーによる、ボディパーカッションを駆使したノンバーバルで多彩なパフォーマンスを実施。		
			開催日	8月7日(木)	8月7日(木)			
			入場者数	200	194			
			入場料金	①1500/②500	①1500/②500			
			入場料収入	170,000	174,000			
		その他収入	0	0				
メインターゲット	親子	支出	2,010,000	2,005,835	計画比	B		
ジャンル	演劇・パフォーマンス	差額	-1,840,000	-1,831,835	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業 1

1 文化会館事業

(1) 市民文化創造育成事業

全10事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
2-4	キッズ応援☆プログラム公演【音楽】 ファミリーClassic! 未就学児入場可能で肩の力を抜いて親子で楽しめる公演。次代を担う子どもたちが感受性豊かな時期に本物の文化芸術を体験し多彩な表現に触れる事で豊かな心を育む機会を提供する。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	ミニホール	ミニホール	①おとな ②子ども プロのヴァイオリニストとピアニストによる演奏を親子で間近に聞けるコンサートを開催。音楽鑑賞に加え、参加型コーナーを設け、様々な大きさのヴァイオリンに触れる、即興のセッションを行うなど、多角的に楽しめる機会とした。		
			開催日	2～3月	2月7日(土)			
			入場者数	120	171			
			入場料金	①1000/②500	①1000/②500			
			入場料収入	130,000	129,500			
			その他収入	5,000	0			
メインターゲット	親子	支出	742,000	700,482	計画比	A		
ジャンル	音楽	差額	-607,000	-570,982	予算比	A		
3	地域創造フェスティバル2025 全国の公共ホールスタッフを対象に、文化政策をテーマとしたシンポジウムやアーティストによるプレゼンテーションなど(一財)地域創造が展開する様々なプログラムを実施する。茅ヶ崎市民文化会館の認知度を全国の公共ホールに広めるとともに、各地のホールスタッフやアーティストと交流・情報交換を行いネットワークを構築し、今後の財団の新たな事業計画の発掘機会とする。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	全館	全館	国内外で活躍する、クラシック音楽、ダンス、邦楽等のアーティスト50組以上が集結し、プレゼンテーション等を実施した。当日は日本全国の公共ホール、音楽事務所をはじめとした様々な分野から非常に多くの人が集まり、茅ヶ崎市民文化会館の名前と施設を多くの方々に認知していただくきっかけとなった。		
			開催日or回数	8月	8月4日(月) 8月5日(火) 8月6日(水)			
			人数	200	延べ2,247			
			入場料金	0	0			
			入場料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	全国公共ホール	支出	49,000	0	計画比	A		
ジャンル	クラシック/ダンス	差額	-49,000	0	予算比	A		
4	演劇体験ワークショップ2025 (①小学生・②中高生・③大人) 小学生・中高生・大人別の演劇ワークショップ。毎回異なるテーマに沿い、他者とコミュニケーションをとり協力しながら演劇を創り上げる。演劇を通して表現力、理解力、課題解決力、創造性などを育む。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	ミニホール	ミニホール	①小学生 ②中高生 ③一般 ※各回体調不良による当日欠席あり 「アナザーストーリー」の創作をテーマに創造力、表現力、協調性を磨くワークショップを実施。SNSや各配信での反応が大きく、全ての回で定員を上回る申し込みがあった。		
			開催日or回数	8月～3月 各2回/全6回	①8/16(土)17(土) ②8/18(月)19(火) ③3/7(土)8(日)			
			人数	各20	①20②20③18			
			参加料	1000～1500	①②1,000 ③1,500			
			参加料収入	70,000	67,000			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	小学生/中高生/大人	支出	1,494,000	1,417,407	計画比	A		
ジャンル	演劇	差額	-1,424,000	-1,350,407	予算比	A		
5	茅ヶ崎交響楽団第84回定期演奏会 40年以上の歴史を持つ市内アマチュアオーケストラによる定期演奏会。市内アマチュアオーケストラの継続的な育成支援と、市民へのクラシック音楽の入口の提供を図り、地域のクラシック音楽文化の向上を目指す。 ※収入は文化会館が販売したチケット枚数分の10%を販売手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	大ホール	大ホール	秋に開催する定期演奏会。指揮に山上純司氏を迎え市民が低廉な価格でオーケストラの演奏を楽しむ機会とした。 文化会館での入場券販売が計画値に達せず課題となった。地域のクラシック音楽の普及と同オーケストラの育成支援のため、広報活動を中心に今後強化する。		
			開催日	9月	9月7日(日)			
			入場者数	800	700			
			入場料金	1,000	1,000			
			販売手数料収入	30,000	17,000			
			その他収入	15,000	13,200			
メインターゲット	若～高年齢層	支出	582,000	434,425	計画比	B		
ジャンル	クラシック	差額	-537,000	-404,225	予算比	A		

1 文化会館事業
(1) 市民文化創造育成事業

全10事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
6	茅ヶ崎みんなのアートフェス2025		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	秋の茅ヶ崎の文化芸術フェスティバル。市民の日頃の活動の成果発表の場の提供や高校生バンドによる若手アーティストの発掘、ピアノ演奏体験による文化芸術活動の普及。年齢・障がい有無にかかわらずユニバーサルな視点でアートに触れる「みんなのコンサート」の実施。茅ヶ崎市文化団体協議会主催の「茅ヶ崎市民文化祭」も参加した、文化芸術に親しむ市民の増加を目指す事業。		会場	文化会館各所	文化会館各所	スタインウェイ演奏体験、みんなのオンステージ、高校生バンド、みんなのコンサートを実施。評価は各事業を参照。文団協が参加事業で実施する「茅ヶ崎市民文化祭」では団体65周年の記念式典を開催するなどにぎわいを見せた。企画の見直しや経費、他事業との棲み分けを含めた改善を要する。 ※合計は6-1～4+市民文化祭		
			開催日	10月～11月	10月18日(土)～11月16日(日)			
			入場者数	合計 800	合計 6,856 (市民文化祭含む)			
			入場料金	0～4000	0～4000			
			参加/入場料収入	78,000	70,000			
			その他収入	1,461,000	1,569,910			
メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	4,880,000	5,732,000	計画比	A		
ジャンル	オールジャンル	差額	-3,341,000	-4,092,090	予算比	B		
6-1	茅ヶ崎みんなのアートフェス2025 憧れのスタインウェイを大ホールの舞台上で弾いてみよう！		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	大ホールのステージにてスタインウェイピアノの演奏体験による文化芸術活動の普及。		会場	大ホール	大ホール	①②一般 ③ユース（23才以下） 著名アーティストと歴史を刻んできた当館のスタインウェイピアノを大ホールで演奏する場を提供。、文化芸術の体験、自身の技術を披露する場を目指した。令和7年度から「ユース限定回」を設定し、若年層の参加を促した。		
			開催日	10月～11月	①10月19日(日) ②11月5日(金) ③11月16日(日)			
			人数	各8	①20 ②15 ③20			
			参加料	1,000～2,000	①22,000 ③1,000			
			参加料収入	42,000	40,000			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	若～高齢年齢層	支出	1,258,000	1,562,971	計画比	A		
ジャンル	ピアノ体験	差額	-1,216,000	-1,522,971	予算比	B		
6-2	茅ヶ崎みんなのアートフェス2025 私も主役！茅ヶ崎みんなのオン・ステージ		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	市民の日頃の文化芸術活動の成果発表の場の提供する事業。		会場	大・小ホール	①大ホール ②小ホール	①音楽部門（大ホール） ②パフォーマンス部門（小ホール） 大・小ホールで自由に発表を行うことができる場を提供。開催4年目となり、認知が広がっているが、募集・告知等の経費などの見直しが必要となっている。他事業との棲み分け等を図りつつ、今後の事業展開を考慮する。		
			開催日	10月～11月	①10月18日(土) ②10月25日(土)			
			入場者数	合計400	①291 ②106			
			参加料	2,000～4,000	2,000～4,000			
			参加料収入	36,000	30,000			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	若～高齢年齢層	支出	193,000	499,510	計画比	B		
ジャンル	オールジャンル	差額	-157,000	-469,510	予算比	B		
6-3	茅ヶ崎みんなのアートフェス2025 高校生バンド・グループ応援企画 「でっかいホールで演奏するぜ！」		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	高校生バンドによる、次代を担う若い世代の育成・支援、発表の場の提供、若手アーティストの発掘を目指す事業。		会場	大ホール	大ホール	高校生バンド・グループの成果発表の舞台を提供し活動の支援を目指した。 令和7年度は支援学校、通信制高校を含め7バンドが出演。演奏の場とともに、一アーティストとして気持ちを高めるためバンドごとに楽屋の用意、バンド同士の交流機会を設けるなど、文化活動への意欲向上を図った。		
			開催日	10月～11月	11月2日(日)			
			入場者数	300	420			
			参加料	0	0			
			参加料収入	0	0			
				0	0			
メインターゲット	若年齢層	支出	1,114,000	1,050,047	計画比	B		
ジャンル	ポピュラー音楽	差額	-1,114,000	-1,050,047	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業 1

1 文化会館事業

(1) 市民文化創造育成事業

全10事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
6-4	茅ヶ崎みんなのアートフェス2025 「みんなのコンサート」		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	年齢・障がいの有無にかかわらずユニバーサルな視点でアートに触れる「みんなのコンサート」の実施。		会場	ミニホール	ミニホール	筆談、カームダウンスペース等を設け、誰もがハードル少なく参加できるコンサートを開催し、老若男女の多世代が来場した。マリンバ・パーカッションとピアノのプロの演奏に加え、参加者が様々な小物楽器を手でできるコーナーを設けるなど、視覚・聴覚・触覚の多感覚的に楽しめる工夫を行った。		
			開催日	10月～11月	11月9日(日)			
			入場者数	60	49			
			入場料金	0	0			
			入場料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	全年齢	支出	556,000	508,450	計画比	B	
ジャンル	オールジャンル	差額	-556,000	-508,450	予算比	A		
7	第41回 第九演奏会		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	約3か月の練習を経て、初心者からベテランまで公募の市民約190名の合唱団と市民オーケストラで作り上げる年末恒例のベートーヴェン「第九」演奏会。市民が文化芸術活動を始めのきっかけや生きがい、出会いの機会の創出にもなっている。		会場	大ホール	大ホール	①一般 ②学生 市民約280人からなる合唱団と市民交響楽団が参加する事業。オーケストラ・合唱団共に10回を超えるレッスンと本番1回を実施することで文化人材の育成、交流や生き甲斐創出を図った。女声の応募数約140%と上回り抽選するなど参加者数はコロナ前と同等に戻った。名匠・黒岩英臣最後の指揮として話題を集めチケットは完売となった。		
			開催日	12月	12月7日(日)			
			入場者数	1000	1002			
			入場料金	2,000	①2,000 ②1,000			
			入場料収入	2,200,000	1,880,300			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	若～高齢年齢層	支出	4,122,000	4,587,073	計画比	A	
ジャンル	クラシック	差額	-1,922,000	-2,706,773	予算比	B		
8	おでかけ公演（アウトリーチ公演） 「冬のコンサート」		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	市民が身近な場所で本物の芸術に触れられるよう、またさまざまな理由で文化会館への来場が難しい方々などのため、市内各所に出かけて公演を行う。おでかけ公演の参加をきっかけに財団の事業や生の芸術に興味をもってもらい市民文化会館の公演への来場につながるようPRも行う。		会場	市内各所	茅ヶ崎里山公園	文化会館から距離がある地域での演奏会の実施。サクソフォンと視聴機会が少ないヴィブラフォンによる、枯葉舞う冬の里山公園の風景にマッチしたクリスマスソングからジャズの全14楽曲を演奏した。文化芸術の鑑賞機会を提供した。		
			開催日	12月	12月21日(日)			
			入場者数	200	186			
			入場料金	0	0			
			入場料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	956,000	614,947	計画比	B	
ジャンル	音楽	差額	-956,000	-614,947	予算比	A		
9-1	文化会館にぎわい創出・活性化事業 「ミニ鉄道模型展 inちがさき」		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	市民が文化会館に親しみをもち、気軽に何度も来館するような仕掛けや事業を行い、来館者や施設利用率、利用者の満足度のアップにつなげる。会館内のカフェ・レストランとのコラボレーション企画、市民プラザや市民ロビーなどを活用したイベント、季節のディスプレイなどを予定。		会場	展示室	展示室	相模線の歴史に関するパネルと相模線に関わりの深い相鉄線の模型を展示。模型は相鉄グループから無償で借用。相模線新旧車両のNゲージ模型が動くジオラマ、塗り絵、缶バッジコーナを設けることで、親子連れを中心に2千人を超える来場があった。本展示をきっかけに文化会館に初来館したという声も聞かれ、利用の少ないお盆時期の空き施設の有効利用と、施設認知度の向上につなげた。		
			開催日	通年	8月11日(月)～15日(金)			
			入場者数	300	2,180			
			入場料金	0	0			
			入場料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	親子	支出	100,000	351,458	計画比	A	
ジャンル	展示	差額	-100,000	-351,458	予算比	B		

実施事業一覧

公益目的事業 1

1 文化会館事業

(1) 市民文化創造育成事業

全10事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
9-2	文化会館にぎわい創出・活性化事業 神奈川県警察音楽隊コンサート 2025 in 茅ヶ崎 耳馴染みのある曲を幅広いレパートリーと卓越したテクニック、カラーガードの華やかな演技で人気を誇る「神奈川県警察音楽隊」による演奏会。無料招待公演のため、文化会館のにぎわい創出は勿論、新たな層の開拓や来場のきっかけとなる事業。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	大ホール	大ホール	魅力的な演目とトークで人気の神奈川県警察音楽隊の公演を開催。無料で良質な音楽を鑑賞する機会を提供した。防犯や交通安全啓発ブースロビーに設け、市民の防犯等の意識を高める機会も創出した。今後も幅広く観覧者を募集するよう努める。		
			開催日	8月	8月31日(金)			
			入場者数	1000	1029			
			入場料金	0	0			
			販売手数料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	中～高齢層	支出	110,000	238,742	計画比	A	
	ジャンル	ポピュラー	差額	-110,000	-238,742	予算比	B	
9-3	文化会館にぎわい創出・活性化事業 「春サキドリ・ライブ！」@ニコと花 市民が文化会館に親しみを持ち、気軽に何度も来館するような仕掛けや事業を行い、来館者や施設利用率、利用者の満足度のアップにつなげる。会館内のカフェ・レストランとのコラボレーション企画、市民プラザや市民ロビーなどを活用したイベント、季節のディスプレイなどを予定。		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	館内レストラン	館内レストラン	館内のレストラン「ニコと花」との季節の料理と花、音楽を楽しむコラボレーション企画。会場には様々な季節の花が装飾され来場者は地元の食材を使ったシェフの特製プレートと茅ヶ崎在住のシンガーソングライターCaravanのスペシャルライブを楽しんだ。地元の食材と地元のアーティストのライブに会場は大きな盛り上がりを見せ、茅ヶ崎ならではの価値ある事業となった。		
			開催日	通年	3月13日(金)			
			入場者数	30	34			
			入場料金	0	4,000			
			入場料収入	0	136,000			
			その他収入	0	2,370			
	メインターゲット	若～中年層	支出	200,000	477,664	計画比	A	
	ジャンル	ポピュラー	差額	-200,000	-339,294	予算比	B	
10	国立劇場おきなわ県外公演 ユネスコ無形文化遺産の組踊や琉球舞踊をはじめ沖縄の伝統的な芸能公演を数多く実施している「国立劇場おきなわ」による県外公演。 関連企画としてより深く沖縄の伝統芸能を知っていただく展示や等も実施予定。 ※収入は文化会館が販売したチケット枚数分の10%を販売手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	小ホール	小ホール	「国立劇場おきなわ」による公演会を開催。演目違いの2回公演となったため予定よりも多くの集客があった。 より多くの若年層に沖縄の伝統文化に親しんでもらおうと学生以下の入場料を無料に設定。子ども連れでの来場も30名程あった。		
			開催日	2月	2月1日(日)			
			入場者数	380	①330 ②210			
			入場料金	未定	0～4000			
			販売手数料収入	105,000	97,348			
			その他収入	176,000	259,640			
	メインターゲット	若～高齢層	支出	626,000	375,659	計画比	A	
	ジャンル	伝統芸能	差額	-345,000	-18,671	予算比	A	

実施事業一覧

公益目的事業1

1 文化会館事業

(2) 芸術文化鑑賞事業

全32事業

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価		
1	劇団四季「赤毛のアン」		開催方法	共催	共催	総評	改善継続
	幅広い層のファンから支持されている「劇団四季」によるミュージカル公演。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	大ホール	大ホール	劇団四季の演目の中でも高い人気を誇る「赤毛のアン」の茅ヶ崎公演。チケットは早々に完売となり、会館での販売は全体の約30%となった。集客面でも会館ににぎわいを見せ、来場のお客様からも絶賛の声を多くいただいた公演であった。今後も共催先と連携し本物の舞台鑑賞機会の提供を図る。	
			開催日	4月6日(日)	4月6日(日)		
			入場者数	1,200	1,270		
			入場料金	S:10,000/A:8,000 B:5,000	S:10,000/A:8,000 B:5,000		
			販売手数料収入	550,000	349,100		
			その他収入	375,000	489,840		
	メインターゲット	若～中年年齢層	支出	539,000	700,988	計画比	A
2	神田伯山独演会		開催方法	共催	共催	総評	継続
	開催要望も多いテレビなどでおなじみの人気・実力を伴った噺家の公演を開催。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	小ホール	小ホール	幅広い世代に圧倒的な人気を誇る、神田伯山氏の独演会。チケットは販売開始と同時に電話が殺到し開始後まもなく完売となった。人気の講師の公演が連続して開催される事により、市外からの来場者もあり市民文化会館を幅広い方々に知っていただくきっかけの一つにもなった。集客・販売手数料収入も安定しており、全体の約38%のチケットを文化会館にて販売した。	
			開催日	6月予定	6月6日(金)		
			入場者数	340	369		
			入場料金	4,000	4,000		
			販売手数料収入	65,000	64,678		
			その他収入	78,000	77,300		
	メインターゲット	若～高齢年齢層	支出	115,000	110,860	計画比	A
	ジャンル	伝統芸能	差額	28,000	31,118	予算比	A
3	N響12人のチェリスト		開催方法	共催	共催	総評	継続
	日本を代表するオーケストラの一つとして名高い「NHK交響楽団」の精鋭チェリスト12名が一堂に集結。ソリストとしても活躍する豪華メンバーが揃う大変貴重な公演を茅ヶ崎で開催。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	大ホール	大ホール	NHK交響楽団のチェリストが揃う貴重な公演ということもあり、当日実際にチェロを持って来館し、受付で楽器を預けている若い世代の姿が多く見られた。チケット販売手数料収入も計画に近い数字に達し、全体の約47%のチケットを文化会館にて販売した。今後も共催事業としてクラシック公演実施の継続を検討する。	
			開催日	6月22日(日)	6月22日(日)		
			入場者数	550	620		
			入場料金	S:6,000/A:4,500 学生:2,000	S:6,000/A:4,500 学生:2,000		
			販売手数料収入	165,000	176,125		
			その他収入	281,000	212,970		
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	407,000	304,650	計画比	A
	ジャンル	クラシック	差額	39,000	84,445	予算比	A
4	柳亭小痴楽独演会		開催方法	共催	共催	総評	改善継続
	若手人気落語家の「柳亭小痴楽」による独演会。落語以外にもテレビドラマやラジオ出演、雑誌へのコラム連載等、多分野で活躍している。文化会館に新たな世代の落語ファン層を呼び寄せるきっかけにもなっている。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	小ホール	小ホール	昨年の同公演と比較して全体的な集客は約7%の増にとどまったが、市民文化会館での券売による販売手数料が昨年と比較して約40%の増となった。今後も共催先との連携を密にし、更なる入場者数・販売手数料収入の増を目指し広報・周知方法等について再考し改善を図る。	
			開催日	5月18日(土)	5月18日(土)		
			入場者数	250	255		
			入場料金	3,600	3,600		
			販売手数料収入	59,000	43,560		
			その他収入	67,000	67,260		
	メインターゲット	若～高齢年齢層	支出	99,000	96,490	計画比	A
	ジャンル	伝統芸能	差額	27,000	14,330	予算比	B

実施事業一覧

公益目的事業1

1 文化会館事業

(2) 芸術文化鑑賞事業

全32事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
5	MYSTERY NIGHT TOUR 2025 稲川淳二の怪談ナイト アーティストの知名度・魅力に加え、毎回異なったクオリティの高い舞台演出も魅力で、茅ヶ崎市民文化会館での開催が夏の名物として定着しつつある怪談の語り公演。広報周知に工夫を凝らし、入場者増を目指す。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	改善継続	
			会場	大ホール	大ホール	怪談師として高い人気を誇る稲川淳二による怪談公演。圧倒的な知名度とここ数年茅ヶ崎での大ホール規模の舞台によるツアー初日開催が続いていることからファンの間でも「茅ヶ崎」での全国ツアー初日開催が注目されている。 会館での販売が全体の約16%と計画していた数字に届かなかったため、今後も収入増を図りつつ共催先と連携し事業継続に取り組む。		
			開催日	7月予定	7月20日(土)			
			入場者数	800	855			
			入場料金	6,600	6,600			
			販売手数料収入	240,000	97,860			
			その他収入	434,000	446,910			
	メインターゲット	若～中年年齢層	支出	623,000	638,940	計画比	A	
ジャンル	ポピュラー	差額	51,000	-94,170	予算比	B		
6	杏里 ANRI LIVE 2025 TIMELY!! 『悲しみがとまらない』とオリビアを聴きながら』『CAT'S EYE』などのヒット曲で知られる杏里のコンサート。80年代シティポップの再ブームにより近年では若い世代にも注目されている。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	改善継続	
			会場	大ホール	大ホール	販売開始後約1カ月でチケットは完売となり公演の注目度の高さが伺える公演となった。券売方法が多様化する中で本公演は全体の約20%が文化会館での販売となった。引き続き会館での券売を伸ばす事を視野に入れ、共催先と連携し手数料収入増を図り、事業継続に取り組む。		
			開催日	7月予定	7月27日(日)			
			入場者数	1,200	1,271			
			入場料金	7,000	8,800			
			販売手数料収入	230,000	234,860			
			その他収入	483,000	468,120			
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	694,000	677,580		A	
ジャンル	ポピュラー	差額	19,000	25,400	予算比	A		
7	リアル恐竜ショー「恐竜パーク」 夏休みの期間に、子どもにも大人にも人気の高い恐竜をテーマとした、見て、触れて、学べるリアル恐竜ショーを開催。ハワイエではミニ博物館や恐竜フォトスポット等、様々な仕掛けが盛り込まれる。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	改善継続	
			会場	大ホール	大ホール	【事業計画：共催事業より①】 集客的には2回公演共に予定数を大きく上回ったが、文化会館での券売が伸びず、若い世代が多いため、ネット販売のプレイガイドの販売が多くを占めた。今後は共催先と配券方法やプレイガイド設定を再考し、改善を図る。		
			開催日	8月予定	8月14日(火) 1日2回公演			
			入場者数	①700 ②700	①1,036 ②974			
			入場料金	4,800	①4,800 ②4,300			
			販売手数料収入	0	94,800			
			その他収入	0	337,540			
	メインターゲット	ファミリー	支出	0	482,620	計画比	A	
ジャンル	体験型ショー	差額	0	-50,280	予算比	B		
8	平原綾香ConcertTour2024-2025 The Swinging Classics! 代表曲「Jupiter」が時代を超えて歌い継がれている、歌手や女優として幅広く活躍する平原綾香のコンサート。令和5年度実施の20周年コンサートツアー同様完売を目指す。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	大ホール	大ホール	【事業計画：共催事業より②】 チケット販売前より多くの問い合わせがあり、令和5年度同様チケットは完売となった。今回は文化会館での券売が全体の約26%となり僅かではあるが前回公演を上回る販売手数料収入となった、今後も手数料収入増を図りつつ共催先と連携し、事業継続に取り組む。		
			開催日	8月予定	8月30日(土)			
			入場者数	1,200	1,286			
			入場料金	7,500	8,000			
			販売手数料収入	0	294,400			
			その他収入	0	437,140			
	メインターゲット	若～中年年齢層	支出	0	624,880	計画比	A	
ジャンル	ポピュラー音楽	差額	0	106,660	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業1

1 文化会館事業

(2) 芸術文化鑑賞事業

全32事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価	
9	それいけ！アンパンマンミュージカル 「おもちゃの国とみんなのたからもの」 子ども向けの国民的アニメとして長年親しまれているアンパンマンのミュージカル公演。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	改善継続
			会場	大ホール	大ホール	【事業計画：共催事業より③】 アンパンマンという人気コンテンツということもあり、3ステージ全てのチケットが完売となった。若いファミリー層が多い公演のため会館でのチケット販売が全体の約12%と伸び悩み、ネット等のプレイガイドの販売が多くなった。今後も手数料収入増を図りつつ共催先と連携し、事業継続に取り組む。	
			開催日	9月予定	9月14日(日) 1日3回公演		
			入場者数	①900 ②900 ③900	①1,246 ②1,232 ③1,229		
			入場料金	3,900	3,900		
			販売手数料収入	0	237,226		
			その他収入	0	614,720		
	メインターゲット	ファミリー	支出	0	879,060	計画比	A
	ジャンル	ミュージカル	差額	0	-27,114	予算比	B
10	T-BOLAN LAST LIVE TOUR 2025-2026 終章 SING THE BEST HIT JOURNEY 47 1990年代に数多くのヒット曲をリリースしたロックバンドT-BOLANの47都道府県を巡る最後のライブツアー。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	改善継続
			会場	大ホール	大ホール	バンドのラストライブツアーという事もあり、ネット販売のチケットは完売となり、チケット予約の履歴から市外からも大変多くのお客様が茅ヶ崎に足を運ばれた。今後はより多くの文化会館販売分のチケットの確保と販売方法について共催先と連携し人気ポピュラー音楽公演の実施を進める。	
			開催日	9月予定	9月23日(火)		
			入場者数	1,200	1,275		
			入場料金	9,000	9,500		
			販売手数料収入	320,000	165,678		
			その他収入	623,000	451,520		
	メインターゲット	中年年齢層	支出	893,000	645,860	計画比	A
	ジャンル	ポピュラー音楽	差額	50,000	-28,662	予算比	B
11	春風亭一之輔独演会 人気・実力ともにトップクラスの噺家による落語会。令和5.6年度では完売している。本格的な落語を地元のホールで聴く機会を市民に提供する。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	継続
			会場	小ホール	小ホール	「笑点」をはじめ圧倒的な人気を誇る落語家「春風亭一之輔」の独演会。チケット販売開始前から大行列ができ、即日完売となった。会館での販売は全体の約30%となり、年々完売までの時間が短くなっていることから今後はチケットの販売方法/販売手数料の増についての再考を含め、共催先と連携し人気落語公演の実施を進める。	
			開催日	9月予定	9月24日(水)		
			入場者数	350	369		
			入場料金	4,000	4,000		
			販売手数料収入	70,000	51,231		
			その他収入	67,000	77,560		
	メインターゲット	若～高齢年齢層	支出	99,000	111,220	計画比	A
	ジャンル	伝統芸能	差額	38,000	17,571	予算比	B
12	山根一仁&伊藤恵 デュオ・リサイタル 2025 若手人気ヴァイオリニスト山根一仁と、日本ピアノ界の重鎮、伊藤恵とのデュオ・コンサート。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	改善継続
			会場	小ホール	小ホール	【事業計画：共催事業より④】 平日の昼間公演という事に加え、周知・宣伝が行き届かず、会館で全体の約64%のチケットを販売したものの集客数に大きく影響する結果となった。今後は共催先に必要とされる宣伝費の確保や告知スケジュール等の更なる再考を求めつつ、販売手数料の増に向け更なる連携を深め事業継続に取り組む。	
			開催日	9～11月予定	10月3日(金)		
			入場者数	350	142		
			入場料金	5,000	5,000		
			販売手数料収入	0	52,729		
			その他収入	0	54,200		
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	0	80,074	計画比	B
	ジャンル	クラシック	差額	0	26,855	予算比	A

実施事業一覧

公益目的事業1

1 文化会館事業

(2) 芸術文化鑑賞事業

全32事業

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価	
13	タンゴ・コンサート		開催方法	共催	共催	総評
	バンドネオン奏者平田耕治と国内外で活躍している実力派ミュージシャンによる、情熱と哀愁のタンゴ・コンサート。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	小ホール	小ホール	改善継続
			開催日	9～11月予定	10月12日(日)	【事業計画：共催事業より⑤】 茅ヶ崎では3年ぶりとなるタンゴ公演。チケットを購入される年齢層が高めであったことから会館での窓口販売が全体の約53%と半分以上のチケットを会館で販売する結果となった。今後も手数料収入増を図りつつ共催先と連携し、事業継続に取り組む。
			入場者数	300	210	
			入場料金	4,500	4,500	
			販売手数料収入	0	54,174	
			その他収入	0	70,580	
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	0	101,220	計画比 B
	ジャンル	タンゴ音楽	差額	0	23,534	予算比 A
14	田原俊彦 TOSHIHIKO TAHARA DOUBLE T TOUR 2025		開催方法	共催	共催	総評
	1980年代のアイドル黄金期にトップアイドルとして人気を博し数々のヒット曲と共に走り続け2024年にデビュー45周年を迎えた田原俊彦の全国ツアー。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	大ホール	大ホール	継続
			開催日	9～11月予定	10月31日(金)	【事業計画：共催事業より⑥】 国民的人気アーティストのチケットを求め多くの問い合わせがあり、徹夜でチケットを求める熱心なファンも現れ前売初日には多くのお客様が来館された。チケットは完売となり、なかなか財団単独では実施できない公演であったため、今後も共催先と連携し、話題性のある人気アーティストの公演実施に取り組む。
			入場者数	1,200	1,282	
			入場料金	9,500	9,500	
			販売手数料収入	0	207,310	
			その他収入	0	373,230	
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	0	533,580	計画比 A
	ジャンル	ポピュラー音楽	差額	0	46,960	予算比 A
15	桂二葉 独演会		開催方法	共催	共催	総評
	巧みな話芸と卓越した表現力で若者から高齢者まで幅広い層から多くの支持を得ている桂二葉による独演会。近年テレビやCM等様々なメディアに出演し更なる人気を高めている。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	小ホール	小ホール	継続
			開催日	9～11月予定	11月5日(水)	人気若手落語の独演会という事もあり、前回はチケットは完売となっているが、今回はわずか2日で完売となっている。文化会館での取扱い枚数が増えたことにより、販売手数料の収入が前回の同公演と比較して約58%の増となった。今後もチケットの販売方法/販売手数料の増についての再考を含め、共催先と連携し人気の噺家による本格的な落語を地元のホールで聴く機会を市民に提供する。
			入場者数	350	364	
			入場料金	3,500	3,500	
			販売手数料収入	46,000	46,600	
			その他収入	67,000	76,630	
	メインターゲット	若～高齢年齢層	支出	99,000	109,910	計画比 A
	ジャンル	伝統芸能	差額	14,000	13,320	予算比 B
16	崎谷直人ヴァイオリン・リサイタル		開催方法	共催	共催	総評
	2022年まで神奈川フィルハーモニー管弦楽団のソロ・コンサートマスターを務めた崎谷直人によるヴァイオリン・リサイタル。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	小ホール	小ホール	改善継続
			開催日	9～11月予定	11月7日(金)	【事業計画：共催事業より⑦】 平日の昼間公演という事に加え、周知・宣伝が行き届かず会館での販売が全体の約55%となったものの、集客数に大きく影響する結果となった。今後は共催先に必要とされる宣伝費の確保や告知スケジュール等の更なる再考を求めつつ、販売手数料の増に向け更なる連携を深め事業継続に取り組む。
			入場者数	350	114	
			入場料金	5,000	5,000	
			販売手数料収入	0	33,817	
			その他収入	0	55,810	
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	0	82,825	計画比 B
	ジャンル	クラシック	差額	0	6,802	予算比 A

実施事業一覧

公益目的事業1

1 文化会館事業

(2) 芸術文化鑑賞事業

全32事業

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価	
17	フォレスタコンサート in 茅ヶ崎		開催方法	共催	共催	総評
	『BS日本・こころの歌』から生まれた、音大出身の実力派コーラスグループであり、童謡・唱歌から歌謡曲まで幅広い日本の名曲を歌い継ぎ、その美しいハーモニーと歌唱力で人気を集めている「フォレスタ」によるコンサート。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	大ホール	大ホール	改善継続
			開催日	9～11月予定	11月12日(水)	【事業計画：共催事業より⑧】 前年度の同公演と比較して集客・販売手数料の収入共に約60%弱にとどまった。今後も手数料収入増を図りつつ共催先と連携し、広報・周知方法を再確認し事業に取り組む。
			入場者数	700	500	
			入場料金	6,600	6,600	
			販売手数料収入	0	165,660	
			その他収入	0	215,480	
	メインターゲット	高齢層	支出	0	308,310	計画比 B
	ジャンル	ポピュラー音楽	差額	0	72,830	予算比 A
18	神奈川県民ホールpresents～C×JAZZ 壺坂健登×デューク・エリントン		開催方法	共催	共催	総評
	人気の若手ジャズピアニスト壺坂健登と新進気鋭のバンドメンバーによるジャズコンサート。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	小ホール	小ホール	継続
			開催日	9～11月予定	11月27日(木)	【事業計画：共催事業より⑨】 閉館中の神奈川県民ホールを管理する(公財)神奈川芸術文化財団との共催事業。公演の周知が行き渡り、U24のチケット設定もある事から幅広い年齢層の集客が見られ、会館での販売も全体の約38%となった。当日、軽快かつ熱いステージングに会場は大きな盛り上がりを見せた。今後も県内の財団と連携し事業継続に取り組む。
			入場者数	250	311	
			入場料金	3,000	3,000/500	
			販売手数料収入	0	44,490	
			その他収入	0	76,750	
	メインターゲット	若～高齢層	支出	0	110,060	計画比 A
	ジャンル	ジャズ	差額	0	11,180	予算比 A
19	ウクライナ国立バレエ「ジゼル」		開催方法	共催	共催	総評
	海外の著名なバレエ団を共催事業として招聘し、ツアー形式とすることでリーズナブルな価格で本格的な海外のクラシックバレエを鑑賞する機会を提供。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	大ホール	大ホール	前売開始時からコンスタントに券売に動きがあり、券売面では全体の約30%のチケットを会館で販売する結果となった。規模の大きい海外の国立バレエ団の招聘は、なかなか財団単独では実施できない公演であるため、今後も共催先と連携し鑑賞機会の提供に努める。
			開催日	12月予定	12月13日(土)	
			入場者数	700	903	
			入場料金	5,000	11,000～4,000	
			販売手数料収入	170,000	292,421	
			その他収入	499,000	545,050	
	メインターゲット	若～高齢層	支出	694,000	779,420	計画比 A
	ジャンル	バレエ	差額	-25,000	58,051	予算比 A

実施事業一覧

公益目的事業1

1 文化会館事業

(2) 芸術文化鑑賞事業

全32事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
22	NHK Eテレで大人気放送中の「おとうさんといっしょ」の仲間たちが茅ヶ崎に。テレビとは一味違うライブステージをファミリー層にお楽しみいただく公演。		入場料金	3,000	3,000	【事業計画：共催事業より⑫】		
			販売手数料収入	0	512,880	NHKの人気コンテンツであり、ファミリー向けの公演という事で文化会館窓口よりもネット予約系のプレイガイドでの販売が多		
			その他収入	0	385,690			
	メインターゲット	ファミリー	支出	0	551,550	計画比	A	
	ジャンル	エンタメ/ショー	差額	0	347,020	予算比	A	
23	開運トークライブ2026 ゲッターズ飯田＆やついいちろう 二人会 in 茅ヶ崎 芸能界最強占い師・ゲッターズ飯田とお笑い芸人・DJ・俳優として活躍するやついいちろうによるスペシャルトークライブ。当日は抽選で直接占ってもらえるチャンスもあり、若い世代を呼び込む公演として実施。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	大ホール	大ホール	【事業計画：共催事業より⑬】		
			開催日	2月予定	2月7日(金)	圧倒的な人気と知名度で多くの集客があり、本公演をきっかけに茅ヶ崎市民文化会館に来館された方も多く見られた。本人をはじめとしたゲスト出演者の占いはじめとした、文芸書、実用書が数多く販売された事により販売手数料収入の大幅アップと、新たな層の来館に繋がる事業となった。		
			入場者数	1,000	①1,065 ② 978			
			入場料金	3,900	3,900			
			販売手数料収入	0	389,600			
			その他収入	0	372,080			
	メインターゲット	若～中年年齢層	支出	0	532,115	計画比	A	
	ジャンル	エンタメ/文芸	差額	0	229,565	予算比	A	
24	柳家喬太郎・桃月庵白酒・春風亭一之輔 三人会 人気・実力・話題性を併せ持つ三人の噺家による落語会。本格的な落語を地元のホールで聴く機会を市民に提供する。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	大ホール	大ホール	柳家喬太郎・桃月庵白酒・春風亭一之輔といった現在の落語会を牽引する、絶大な人気を誇る三人による落語会は、昨年の同公演を上回る1200名を超える集客と会館での販売も全体の約35%と昨年を上回る結果となった。今後も共催先との取引を進め、人気落語家による公演の実施を継続して実施する。		
			開催日	2月頃予定	2月16日(月)			
			入場者数	1,000	1,224			
			入場料金	4,000	4,000			
			販売手数料収入	250,000	172,400			
			その他収入	241,000	238,440			
	メインターゲット	若～高年齢層	支出	347,000	341,080	計画比	A	
	ジャンル	伝統芸能	差額	144,000	69,760	予算比	B	

実施事業一覧

公益目的事業1

1 文化会館事業

(2) 芸術文化鑑賞事業

全32事業

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価		
25	ジャミン・ゼブ・コンサート2026	開催方法	共催	共催	総評	改善継続	
	幅広いレパートリーを持ち、ジャズ・コーラスをベースにさまざまなジャンルの名曲を歌うヴォーカルグループのコンサート。毎回遠方からのファンとともに、地元の幅広い年代のコーラスファンも来場、茅ヶ崎公演が名物となりつつある。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。	会場	小ホール	小ホール	2026年に結成20周年を迎える人気コーラスグループ「ジャミン・ゼブ」による茅ヶ崎公演。終演後のサイン会では多くの来場者がホワイエを埋め尽くした。会館での販売が全体の約37%となったが予定入場者数に達しなかったため、今後も広報・周知を工夫し、更なる集客増を目指し事業を継続し良質なヴォーカルコンサートの鑑賞機会の提供に努める。		
		開催日	2月頃予定	2月28日(土)			
		入場者数	250	224			
		入場料金	6,000	6,000			
		販売手数料収入	63,000	58,420			
		その他収入	148,000	147,870			
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	215,000	211,680	計画比	B
ジャンル	ポピュラー	差額	-4,000	-5,390	予算比	B	
26	渡辺貞夫グループ2026 カルフォルニア・シャワー	開催方法	共催	共催	総評	継続	
	活動75周年を迎える世界的なジャズ・レジェンド渡辺貞夫による記念コンサート。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。	会場	大ホール	大ホール	記念すべき75周年のステージを体験しようと前売初日から多くの問い合わせがあり、公演チケットは早々に完売となり会館での販売は全体の約39%という結果となった。93歳を迎えてもなお色褪せない圧巻のステージ・パフォーマンスに客席は大いに盛り上がり、会場ではCDやオリジナルグッズが多く販売され、チケット・グッズ販売手数料が想定を上回る結果となった。		
		開催日	未定	3月1日(日)			
		入場者数	1,000	1,288			
		入場料金	9,000	9,500			
		販売手数料収入	170,000	404,115			
		その他収入	71,000	479,940			
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	105,000	686,040	計画比	A
ジャンル	ジャズ	差額	136,000	198,015	予算比	A	
27	ザ・クロマニヨンズ ツアー JAMBO JAPAN 2025-2026	開催方法	共催	共催	総評	継続	
	圧倒的な人気を誇る伝説的バンド「THE BLUE HEARTS」の甲本ヒロト、真島昌利を中心に結成された人気4人組ロックバンド「ザ・クロマニヨンズ」の全国ツアー。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。	会場	大ホール	大ホール	【事業計画：共催事業より⑭】 圧倒的な人気を誇る「ザ・クロマニヨンズ」の全国ツアー公演。チケットは前売初日に即日完売となり、当日はCDをはじめとした様々なオリジナルグッズの販売ブースも大きな賑わい大盛況であった。会場にはチケットを購入できなかったが同じ空気を共有したいというファンの姿も見られた。		
		開催日	未定	3月10日(火)			
		入場者数	1,250	1,289			
		入場料金	未定	6,800			
		販売手数料収入	0	174,603			
		その他収入	0	288,530			
	メインターゲット	若～中年年齢層	支出	0	412,590	計画比	A
ジャンル	ポピュラー音楽	差額	0	50,543	予算比	A	
28	ちがき寄席2026 林家つる子・三遊亭わん丈 二人会	開催方法	共催	共催	総評	改善継続	
	3月の恒例の落語会。気鋭・実力派の落語家を毎年セレクトし実施している。小規模空間の至近距離で本物の落語に触れる機会を提供する。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。	会場	小ホール	小ホール	落語協会12年ぶりの抜擢真打昇進で大きな話題となった若手実力派の落語家、林家つる子、三遊亭わん丈の二人による落語会。林家つる子は「第42回浅草芸能大賞」において新人賞を受賞し大きな話題となった。会館での販売が全体の約56%となったものの予定した数字にとどなかった為、今後も周知方法を改め、手数料収入増を図りつつ共催先と連携し、事業継続に取り組む。		
		開催日	3月予定	3月14日(土)			
		入場者数	350	209			
		入場料金	3,500	3,600			
		販売手数料収入	46,000	43,880			
		その他収入	67,000	76,750			
	メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	99,000	110,050	計画比	B
ジャンル	伝統芸能	差額	14,000	10,580	予算比	B	

実施事業一覧

公益目的事業 1

1 文化会館事業

(2) 芸術文化鑑賞事業

全32事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
29	牛田智大 ピアノ・リサイタル		開催方法	共催	共催	総評	改善継続	
	2025年の第19回ショパン国際コンクールで本選への切符は逃したものの、その演奏が注目を浴び、様々なメディアが取り上げた牛田智大によるリサイタル。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	大ホール	大ホール	【事業計画：共催事業より⑮】 自身二度目の挑戦となった2025年開催の第19回ショパン国際ピアノコンクールで3次予選まで進出しセミ・ファイナリストとなった牛田智大。その模様が多くのメディア等で取り上げられ話題となり、入場者数は想定を大きく上回り会館での販売が全体の約33%となった。		
			開催日	未定	3月15日(日)			
			入場者数	650	1,079			
			入場料金	未定	4,500			
			販売手数料収入	0	161,100			
		その他収入	0	222,530				
メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	0	318,320	計画比	A		
ジャンル	クラシック	差額	0	65,310	予算比	A		
30	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 For Future 巡回公演シリーズ 茅ヶ崎公演		開催方法	共催	共催	総評	継続	
	神奈川のプロオーケストラ「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」に地元茅ヶ崎のバリトン歌手竹村淳と山田姉妹として人気を博した山田麗がソリストとして出演。 ※収入は文化会館で販売したチケット枚数分の10%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	大ホール	大ホール	【事業計画：共催事業より⑯】 神奈川フィルハーモニー管弦楽団によるバラエティー豊かな名曲プログラムが演奏され、茅ヶ崎ゆかりのバリトン歌手竹村淳などの神奈川にゆかりあるのアーティストが出演し、会館での販売も全体の約51%と高く、地元茅ヶ崎のアーティストの存在を改めて感じさせる価値あるステージとなった。		
			開催日	未定	3月20日(金祝)			
			入場者数	600	873			
			入場料金	未定	4000～1000			
			販売手数料収入	0	160,546			
		その他収入	0	249,530				
メインターゲット	中～高齢年齢層	支出	0	356,910	計画比	A		
ジャンル	クラシック	差額	0	53,166	予算比	A		
31	共催事業		開催方法	共催	共催	総評	継続	
	年度途中にプロモーター、各種団体等より開催の相談のある中より実施を決定した場合に対応する。市民に多彩なジャンルの良質な舞台公演を提供することができるか、さらに重要となる販売手数料等の収益も鑑みて決定する。		会場	大/小ホール	大/小ホール	【事業計画：共催事業より】①～⑯の総計となります。		
			開催日	通年	通年			
			入場者数	—	—			
			入場料金	—	—			
			販売手数料収入	1,615,000	2,826,218			
		その他収入	2,240,000	4,026,610				
メインターゲット		支出	3,227,000	5,764,304	計画比			
ジャンル		差額	628,000	1,088,524	予算比			
32	後援・チケット取扱事業		開催方法	貸館	貸館	総評		
	文化会館大ホール・小ホール等で開催される市民や団体主催の催しのチケットの会館窓口での受託販売を行い、主催者・購入者の利便性を図るとともに、収益の確保にもつなげる。		会場	大/小/ミホール	大/小/ミホール			
			開催日	通年	通年			
			入場者数	—	—			
			入場料金	—	—			
			販売手数料収入	1,600,000	430,484			
		その他収入	0	0				
メインターゲット		支出	10,000	935	計画比			
ジャンル		差額	1,590,000	429,549	予算比			

実施事業一覧

公益目的事業 1

1 文化会館事業

文化芸術教育プログラム

全5事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	文化芸術教育プログラム 「いこいの場プロジェクト」 乳幼児から高齢者まで誰もが気軽に立ち寄れるアートな居場所を提供する「のんびりアートのひろば」や、次代を担う子どもたちを対象にプロのアーティストが演奏する音楽の鑑賞や楽器やリズム遊びなどを通して感受性や表現力などさまざまな能力を育む機会を提供する。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	大会議室/ミホール	大会議室/ミホール	①「のんびりアートのひろば」 （全6回）参加者計:431名 ②「リトミックと小さな楽器体験」 （全6日×2回＝全12回）参加者計:262名 ③「マリンバ&ピアノ ミニコンサート」 （全2日×2回＝全4回）参加者計:135名 「のんびりアートのひろば」では親子連れから高齢者まで幅広い世代に自由なアート空間を体験していただいた。引き続きアートに触れる機会と居場所づくりの提供を進める。本事業については今後も財団で計画していく。		
			開催日	年12回程度				
			入場者数	480	828			
			入場料金	0	0			
			販売手数料収入	0	0			
			その他収入	1,067,000	1,067,000			
	メインターゲット	未就学児～中学生	支出	1,067,000	776,367	計画比	A	
ジャンル	アート/音楽	差額	0	290,633	予算比	A		
2-1	文化芸術教育プログラム ①梅田中学校アウトリーチ PAN NOTE MAGIC Special Concert プロのアーティストが学校を訪問し、本物の文化芸術の鑑賞・体験の機会を子どもたちの学びの場である学校に届けるアウトリーチ事業。子どもたちが優れた文化芸術に触れることで、豊かな感性や創造性等を育む。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	小中学校	梅田中学校	1～3年生371人が「PAN NOTE MAGIC」による民族楽器スティールパンの演奏を鑑賞。当日出演者から生徒への問いかけではスティールパンを生で初めて聴く生徒がほとんどであったため、演奏はもちろん楽器の発祥についての演劇仕立ての解説や各楽器の紹介もあり大きな盛り上がりを見せた。本事業については今後も財団で計画していく。		
			開催日or回数	全5校程度	11月26日(水)			
			人数	300	371			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	395,400	395,400			
	メインターゲット	中学生	支出	395,400	389,770	計画比	A	
ジャンル	音楽(民族楽器)	差額	0	5,630	予算比	A		
2-2	文化芸術教育プログラム ②小和田小学校アウトリーチ 川上天馬&小池花奈Wエレクトーン プロのアーティストが学校を訪問し、本物の文化芸術の鑑賞・体験の機会を子どもたちの学びの場である学校に届けるアウトリーチ事業。子どもたちが優れた文化芸術に触れることで、豊かな感性や創造性等を育む。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	小中学校	小和田小学校	5年生162人が、プロのエレクトーン演奏を鑑賞。耳馴染みの曲からオリジナル曲までエレクトーンの音色を楽しんだ。電子楽器の仕組みや奏法などを実演を交えた解説も行った。アンケートからは、演奏技術の高さと、知っている楽曲のアレンジが良かったという声が多く、また、先生からは非常に満足行く内容であり、特に感受性が高められたと思うという声が一番多く寄せられた。本事業については今後も財団で計画していく。		
			開催日or回数	全5校程度	12月23日(火)			
			人数	140	160			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	450,400	450,400			
	メインターゲット	小学生	支出	450,400	435,837	計画比	A	
ジャンル	ポピュラー音楽	差額	0	14,563	予算比	A		
2-3	文化芸術教育プログラム ③浜之郷小学校アウトリーチ 和楽器「箏」の演奏と体験 プロのアーティストが学校を訪問し、本物の文化芸術の鑑賞・体験の機会を子どもたちの学びの場である学校に届けるアウトリーチ事業。子どもたちが優れた文化芸術に触れることで、豊かな感性や創造性等を育む。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	小中学校	浜之郷小学校	参加した6年生83人全員が、爪を付けて実際に箏に触れ、音と響きを体験した。教える・学ぶ事以前の初めての楽器との出会いと親しむことに重点を置いた。会場での問いかけでは箏を教材・タブレットでのみ見た事がある児童がほとんどであり、アンケートでは特に箏の音色の美しさと複雑な構造についてのトーク内容に新しい発見と高い関心を持ったという声が多く。先生からは非常に満足という感想と児童たちが積極的に体験する姿が良かったという声が多く寄せられた。本事業については今後も財団で計画していく。		
			開催日or回数	全5校程度	2月2日(月)			
			人数	80	83			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	390,400	390,400			
	メインターゲット	小学生	支出	390,400	385,705	計画比	A	
ジャンル	邦楽（和楽器）	差額	0	4,695	予算比	A		
2-4	文化芸術教育プログラム ④柳島小学校アウトリーチ 和楽器「箏」の演奏と体験 プロのアーティストが学校を訪問し、本物の文化芸術の鑑賞・体験の機会を子どもたちの学びの場である学校に届けるアウトリーチ事業。子どもたちが優れた文化芸術に触れることで、豊かな感性や創造性等を育む。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	小中学校	柳島小学校	参加した4年生106人全員が、爪を付けて実際に箏に触れ、音と響きを体験した。教える・学ぶ事以前の初めての楽器との出会いと親しむことに重点を置いた。アンケートからは箏の演奏の美しさと「弾いてみて楽しかった」「知識が増えた」など体験を通じての興味喚起が感想として多く見られ、先生からは日本の音楽と文化、本物に触れる体験が出来て非常に満足という感想が寄せられた。本事業については今後も財団で計画していく。		
			開催日or回数	全5校程度	2月3日(火)			
			人数	100	106			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	399,400	399,400			
	メインターゲット	小学生	支出	399,400	391,310	計画比	A	
ジャンル	邦楽（和楽器）	差額	0	8,090	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業 1

1 文化会館事業

文化芸術教育プログラム

全5事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
2-5	文化芸術教育プログラム ⑤松林小学校アウトリーチ 演劇舞台鑑賞 プロのアーティストが学校を訪問し、本物の文化芸術の鑑賞・体験の機会を子どもたちの学びの場である学校に届けるアウトリーチ事業。子どもたちが優れた文化芸術に触れることで、豊かな感性や創造性等を育む。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	小中学校	松林小学校	3年生138人が、茅ヶ崎でオリジナル作品を創作・上演している演劇ユニットPlatanusによる演劇舞台を観劇。多彩に仕込まれた舞台・照明機材を駆使し現代のAIと人間の感情と温かさを問いかける作品を上演。日常にある体育館が非日常空間となり間近で舞台を体験する貴重な機会を提供した。終演直後の現場で児童たちが話し合う声からは舞台のスケールの大きさやストーリーが深く心に響いたという声が多く聞かれた。本事業については今後も財団で計画していく。		
			開催日or回数	全5校程度	2月27日(金)			
			人数	120	138			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	394,400	394,400			
メインターゲット	小学生	支出	394,400	350,530	計画比	A		
ジャンル	演劇	差額	0	43,870	予算比	A		
3	文化芸術教育プログラム 先生応援アートプログラム クラシックギター・ワークショップ アーティストが学校へ出向き、学校の長期休みなどに開催するワークショップ。自由な発想や感性、独自性を尊重する演劇やダンスを先生が体験し、授業に生かすヒントを習得してもらう。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	小中学校	第一中学校	中学校教育研究会、音楽部会の教諭18人を対象にクラシックギターのワークショップを実施。第一線で活躍するプロ奏者からの技法レクチャー、授業で役立つコツ、アイデア機材の提案などがなされた。アンケートからは教科書には無いプロのアドバイスや直接指導が良かった。授業で話す時の参考になった等の声が多くあった。		
			開催日or回数	1回	8月28日(木)1回			
			人数	15	18			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	200,000	200,000			
メインターゲット	教員	支出	200,000	165,330	計画比	A		
ジャンル	音楽	差額	0	34,670	予算比	A		
4	文化芸術教育プログラム 「こころの劇場 劇団四季ミュージカル」 市・教育委員会・実行委員会とともに実施する市内公立・私立小学校20校、支援学校の6年生を招待し、本物の生の舞台(劇団四季ミュージカル)の鑑賞機会を提供する事業。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	大ホール	大ホール	市立小学校19校、私立小学校1校の全20校の小学6年生2120人の児童がミュージカルを鑑賞。今回は支援学校の都合が合わず出席できなかった。2009年から続く事業のため混乱なく実施した。引き続き次代を担う子どもたちに本物の生の舞台を鑑賞する機会の提供を継続して行う。		
			開催日or回数	5月1日(木)2回	5月1日(木)2回			
			人数	2,200	①1,182②1,062			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	480,000	480,000			
メインターゲット	小学生	支出	480,000	460,120	計画比	A		
ジャンル	ミュージカル	差額	0	19,880	予算比	A		
5	文化芸術教育プログラム パンフレット制作 文化芸術教育プログラムのパンフレット制作し本事業をさらに周知する。 2000部作成し、小・中学校、保育園、幼稚園、高校に送付。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	-	-	2000部を作成。 公立小中学校の全学級に向け6月初旬に配布した他、文化会館、美術館、市役所窓口 に配架した。		
			開催日or回数	-	-			
			人数	-	-			
			参加料/人	-	-			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	296,000	296,000			
メインターゲット	小・中学校	支出	296,000	237,470	計画比	A		
ジャンル	パンフレット制作	差額	0	58,530	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業

全7事業

(企画展4本、共催展3本)

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	企画展1「美術館建築—アートと建築が包み合うとき」 会期：4月1日(火)－6月8日(日) 美術館は展示される美術作品のみならず、建築そのものを目的として来館する人々も増えてきている。湘南らしい軽やかな建物として知られる当館を舞台に、プリッカー賞受賞の著名建築家たちによる建築とアートに焦点をあてた企画展（共催：国立近現代建築資料館）※6度の支出計上分：3,520,150円		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	観覧者7637人（うち無料観覧者1,140人） 展覧会の満足度と展示方法の分かりやすさについては、アンケートで約80%以上の方が「満足」「やや満足」と回答した。「初めての来館者」が63%となり、当館を知らなかった方々やこれまでとは異なる客層を取り込むことができた。展覧会観覧者数は計画時を大きく上回る結果となった。		
			開催日	60日	60日			
			観覧者数	4,340	7,637			
			料金	800	800			
			観覧料収入	3,332,000	4,492,800			
			その他収入 関連催事含む	1,298,000	4,160,365			
メインターゲット	20～40代	支出 関連催事含む	9,664,450	4,889,463	計画比	A		
ジャンル		建築	差額（催事含む）	-5,034,450	3,763,702	予算比	A	
表 1-2	内訳）企画展1 美術館建築展 関連催事一式		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			事業件数	全9事業	全10事業	別紙に詳細あり（※「劇作家のアフタートーク」を追加で実施）		
			人数(延べ)	1,628	1,233			
			参加料収入	792,600	527,900			
			その他収入	0	0			
			支出	833,410	1,720,358			
			差額	-40,810	-1,192,458	計画比	B	
		予算比	B					
2	企画展2 うつわの彩り－吉田耕三と北大路魯山人 会期：6月17日(火)－8月24日(日) 速水御舟の甥・義理の息子にあたり、東京国立近代美術館初期研究員を務めた吉田耕三のコレクションから北大路魯山人の食器を中心に紹介する。生活に密着する食器には親しみやすさと道具としての美しさがあり、茅ヶ崎に暮らした同氏のコレクションをまとめて展示する初の機会。		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	観覧者数5,374人（うち無料観覧者661人） 展覧会の満足度と展示方法の分かりやすさについてはアンケートで約80%以上の方が「満足」「やや満足」と回答した。工芸専門雑誌やNHKで取り上げられたが、アンケートによると、来館のきっかけのうち最も多かった約40%が美術館のHPやチラシ類であり、当館からの発信の重要性を再認識した。		
			開催日	60日	60日			
			観覧者数	4,200	5,374			
			料金	1,000	1,000			
			観覧料収入	3,880,000	3,301,500			
			その他収入 関連催事含む	585,000	1,206,650			
メインターゲット	50～90代	支出 関連催事含む	5,208,765	5,180,739	計画比	A		
ジャンル		陶磁器	差額（催事含む）	-743,765	-672,589	予算比	A	
表 2-2	内訳）企画展2 吉田耕三展 関連催事一式		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			事業件数	全3事業	全3事業	別紙に詳細あり		
			人数(延べ)	100	158			
			参加料収入	35,000	16,000			
			その他収入	0	0			
			支出	83,525	53,785			
			差額	-48,525	-37,785	計画比	A	
		予算比	A					

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業

全7事業

(企画展4本、共催展3本)

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
3	企画展3 白樺－日本における西洋美術の導入と拡がり 会期：9月2日(火)－11月9日(日) 年間テーマである「多彩なメディア表現」の一つとして雑誌『白樺』を取り上げる。文芸雑誌として『白樺』は刊行されたが、岸田劉生など著名画家も関わり、国内で西洋美術を紹介する役割も担った。日本美術と西洋美術の交わる時代背景を捉えながら、美術雑誌としての『白樺』とそれに関わる作家作品を紹介。		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	観覧者数3,454人（うち無料観覧者617人） 展覧会の満足度と展示方法の分かりやすさは、アンケートで約90%の方が「満足」「やや満足」と回答し、高評価を得た。アンケートから幅広い世代が来館していた。広報面では、雑誌掲載もされたが、来館の主なきっかけは当館HPが最多、次いでSNSであったため、今後の広報戦略の見直しを図る。		
			開催日	60日	60日			
			観覧者数	3,700	3,454			
			料金	800	800			
			観覧料収入	2,700,000	1,612,900			
			その他収入 関連催事含む	804,000	353,850			
メインターゲット		40～90代	支出 関連催事含む	5,260,617	3,710,307	計画比	B	
ジャンル		文学、西洋美術	差額（催事含む）	-1,756,617	-1,743,557	予算比	A	
表 3-2	内訳) 企画展3 白樺展 関連催事一式		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			事業件数	全5事業	全4事業	別紙に詳細あり		
			人数(延べ)	214	128			
			参加料収入	89,000	63,000			
			その他収入	0	0			
			支出	100,233	156,508			
			差額	-11,233	-93,508	計画比	B	
					予算比	B		
4	企画展4 菅野陽と浜田知明 銅版画の夜明け前 会期：12月13日(土)－2025年2月23日(月・祝) 1950年代より日本を代表する銅版画家として国際的に活躍の場を広げた菅野陽(1919-1995)と浜田知明(1917-2018)を当館所蔵作品を中心に展示。銅版画に必要な道具類や出来上がった作品が出版物に使用される過程など、作品と作者を取り巻く「環境」にも注目する。		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	観覧者数2,411人（うち無料観覧者287人） 展覧会の満足度と展示方法の分かりやすさは、アンケートで約90%の方が「満足」「やや満足」と回答し、高評価を得た。展示室1のみだが内容・ボリュームともに見応えがあるとの声が多かった。アンケート回答のお礼にステッカーを配布したことにより回答率は16%まで向上。来館者ニーズ把握の観点から今後も継続を検討する。		
			開催日	58日	58日			
			観覧者数	2,420	2,411			
			料金	400	400			
			観覧料収入	884,000	563,400			
			その他収入 関連催事含む	0	4,180			
メインターゲット		50～70代	支出 関連催事含む	1,132,555	923,290	計画比	B	
ジャンル		近代美術	差額（催事含む）	-248,555	-355,710	予算比	B	
表 4-2	内訳) 企画展4 銅版画展 関連催事一式		開催方法	主催	3	総評	継続	
			事業件数	全2事業	全3事業	別紙に詳細あり		
			人数(延べ)	80	86			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
			支出	16,705	18,370			
			差額	-16,705	-18,370	計画比	A	
					予算比	B		

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業

全7事業 (企画展4本、共催展3本)

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
5	共催展 1 茅ヶ崎寒川地区中学校美術作品展 2025 会期：11月15日(土)－12月7日(日) 茅ヶ崎・寒川地区の中学校における美術の授業で制作した作品を紹介する展覧会。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	教育関係者から「色々なアイデアや色の使い方を知ることができ、これからの学校生活の中で活用できる場」との評価があった。地域の美術教育の質の高さが垣間見られる展示として今後も継続していく。		
			開催日	20日	20日			
			観覧者数	5,000	4,199			
			料金	0	0			
			観覧料収入	0	0			
			その他収入 関連催事含む	0	0	計画比	B	
	支出 関連催事含む	0	0					
メインターゲット	10代、30代、60代	文化活動支援・団体連携	差額（催事含む）	0	0	予算比	A	
ジャンル								
6	共催展 2 茅ヶ崎・寒川地区高校生アート展 芸術魂 2025 会期：2026年2月3日(火)－2月23日（月・祝） 茅ヶ崎・寒川地区の高校生美術部員や支援学校を中心とした若者たちによるフレッシュなアートを紹介する展覧会		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	アンケートで展示について「満足89%」「やや満足11%」と高評価を得た。「目がひかれるものがあった」「力強さが感じられる」「孫を連れて再訪したい」などのコメントが寄せられた。学校への積極的な声かけにより、昨年から2校増えて6校が参加。絵画以外の作品（写真、マンガ、彫刻等）の展示も取り入れた。		
			開催日	19日	19日			
			観覧者数	900	809			
			料金	0	0			
			観覧料収入	0	0			
			その他収入 関連催事含む	0	0	計画比	B	
	支出 関連催事含む	50,830	26,622					
メインターゲット	10代、40代、60代	文化活動支援・団体連携	差額（催事含む）	-50,830	-26,622	予算比	A	
ジャンル								
7	共催展 3 第43回 茅ヶ崎美術家協会展 会期：2026年3月3日(火)－3月22日(日) 茅ヶ崎市および近隣で制作活動を行う茅ヶ崎美術家協会会員の作品と一般公募の入選作品を紹介する展覧会。		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	アンケートで「普段見られない作品を楽しめた」「未熟さも含めた力強さを感じた」などの声が寄せられた。また、本展を目当てに毎年訪れる来館者もあり、継続的な取り組みの成果がうかがえる。		
			開催日	18日	18日			
			観覧者数	2,000	1,958			
			料金	0	0			
			観覧料収入	0	0			
			その他収入 関連催事含む	0	0	計画比	B	
	支出 関連催事含む	41,330	14,990					
メインターゲット	50～60代	文化活動支援・団体連携	差額（催事含む）	-41,330	-14,990	予算比	A	
ジャンル								
表 7-2	内訳）共催展 3 第43回 茅ヶ崎美術家協会展 関連催事一式		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			事業件数	全3事業	全3事業	別紙に詳細あり		
			人数(延べ)	85	173			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
			支出	0	0			
			差額	0	0	予算比	A	

実施事業一覧

公益目的事業1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業（関連催事）

全23事業

■ 表1-2 企画展1 美術館建築展 関連催事

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価		
1	企画展1 美術館建築展 関連催事 講演会 出展作家によるトーク 講師：内藤廣（建築家） ※支出額には、展示協力費・施設使用料等も含んでいます。		開催方法	主催	主催	総評	継続
			会場	うみかぜテラス	うみかぜテラス	4/26（土）参加者数205人（うち関係者9人）	
			開催日	4月26日	4月26日	第一線で活躍する建築家を招く講演会シリーズ。申込直後に定員に達したが、当日の参加者はキャンセルにより、参加料収入が2/3程度となった。今後は事前に参加費を回収する方法を検討。	
			人数	300	205		
			料金	500	500		
			参加料収入	150,000	98,000		
			その他収入	0	0		
	メインターゲット	観覧者	支出	155,000	253,238	計画比	B
2	企画展1 美術館建築展 関連催事 講演会 出展作家によるトーク 講師：山口洋一郎（建築家） ※支出額には、展示協力費・施設使用料等も含んでいます。		開催方法	主催	主催	総評	継続
			会場	木熨斗（きのし）	木熨斗（きのし）	4/29（火祝）参加者数49人（うち関係者3人）	
			開催日	4月29日	4月29日	当館の設計者である建築家の講演会を、本人が設計したご両親のための家で実施。参加者からは、街とともに歩んできた地元の建築家を取り上げたことを評価する声があった。今後も美術館とともに地域の価値を見い出す企画を検討。	
			人数	50	49		
			料金	500	500		
			参加料収入	25,000	23,000		
			その他収入	0	0		
	メインターゲット	観覧者	支出	160,000	93,500	計画比	B
3	企画展1 美術館建築展 関連催事 講演会 出展作家によるトーク 講師：西沢立衛（建築家） ※支出額には、展示協力費・施設使用料等も含んでいます。		開催方法	主催	主催	総評	継続
			会場	うみかぜテラス	うみかぜテラス	5/17（土）参加者数191人（うち関係者6人）	
			開催日	5月17日	5月17日	第一線で活躍する建築家を招く講演会シリーズ。展覧会テーマにあわせ美術館設計に特化したレクチャーを実施。参加者の質疑応答が盛んであり、「建築家から直接話を聞ける機会は減多にないため時間を延長して欲しかった」という意見もあり大変好評だった。	
			人数	300	191		
			料金	500	500		
			参加料収入	150,000	92,500		
			その他収入	0	0		
	メインターゲット	観覧者	支出	155,000	253,518	計画比	B
4	企画展1 美術館建築展 関連催事 講演会 出展作家によるトーク 講師：三分一博志（建築家） ※支出額には、展示協力費・施設使用料等も含んでいます。		開催方法	主催	主催	総評	継続
			会場	うみかぜテラス	うみかぜテラス	6/8（日）参加者数214人（うち関係者15人）	
			開催日	6月8日	6月8日	第一線で活躍する建築家を招く講演会シリーズ。関東では講演会の機会が少ない建築家を招いて実施。参加者から「地球と一体になる建築について、本人から直接話を聞くことができ、展示内容に対する理解が深まった」との意見があり好評であった。	
			人数	300	214		
			料金	500	500		
			参加料収入	150,000	99,500		
			その他収入	0	0		
	メインターゲット	観覧者	支出	165,000	406,122	計画比	B
	ジャンル	トーク（建築）	差額	-15,000	-306,622	予算比	B

実施事業一覧

公益目的事業1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業（関連催事）

全23事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価			
5	企画展1 美術館建築展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続		
	講演会		会場	うみかぜテラス	うみかぜテラス	6/8（日）参加者数225人 （うち関係者30人）			
	出展作家によるトーク 講師：坂 茂（建築家） ※支出額には、展示協力費・施設使用料等も含んでいます。		開催日	6月8日	6月8日	第一線で活躍する建築家を招く講演会シリーズ。参加者からは、「建築家が、持っている違和感や疑念に対する答えを、建築を通して体現していることが分かった」という意見があった。			
			人数	300	225				
			料金	500	500				
			参加料収入	150,000	97,500				
		その他収入	0	0					
メインターゲット		観覧者	支出	165,000	661,830	計画比	B		
ジャンル		トーク（建築）	差額	-15,000	-564,330	予算比	B		
6	企画展1 美術館建築展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続		
	講演会（対談）		会場	うみかぜテラス	うみかぜテラス	6/8（日）参加者数201人			
	出展作家によるトーク 講師：坂 茂×三分一博志 ※支出額は、No4.5に含んでいます。		開催日	6月8日	6月8日	第一線で活躍する建築家を招く講演会シリーズ。初開催となる対談であり、参加者からは「異なるタイプだと思っていた建築家だが、共通点が多く見つかり貴重だった」という意見があり、対談の意義があるプログラムとなった。			
			人数	300	201				
			料金	500	500				
			参加料収入	150,000	100,500				
		その他収入	0	0					
メインターゲット		観覧者	支出	0	0	計画比	B		
ジャンル		トーク（建築）	差額	150,000	100,500	予算比	B		
7	企画展1 美術館建築展 関連催事		開催方法	主催		3	総評	継続	
	ワークショップ		会場	アトリエ	アトリエ	5/4（日）参加者数27人 （未就学児14人+保護者13人）			
	茅ヶ崎発の知育玩具「いろくみ」を使った造形ワークショップ 講師：小倉ひろみ 対象：3才～小学2年生と保護者 料金：2人800円、3人1,300円		開催日	5月4日	5月4日	色と形を組み合わせる造形あそびができるキットを使ったワークショップ。参加者は、楽しみながら様々な形を作成した。			
			人数	12	27				
			料金	800	800				
			参加料収入	9,600	10,900				
		その他収入	0	0					
メインターゲット		3才～8才、保護者	支出	16,705	26,075	計画比	A		
ジャンル		造形ワークショップ	差額	-7,105	-15,175	予算比	B		
8	企画展1 美術館建築展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続		
	ワークショップ		会場	アトリエ	アトリエ	5/4（日）参加者数12人			
	茅ヶ崎発の知育玩具「いろくみ」を使った造形ワークショップ 講師：小倉ひろみ 対象：小学3年生～6年生 料金：1人500円		開催日	5月4日	5月4日	色と形を組み合わせる造形あそびができるキットを使ったワークショップ。色に関する講義を行ってから実施した。申込者数が定員に届かなかったため、今後、周知方法を検討する。			
			人数	16	12				
			料金	500	500				
			参加料収入	8,000	6,000				
		その他収入	0	0					
メインターゲット		8才～12才	支出	16,705	26,075	計画比	B		
ジャンル		造形ワークショップ	差額	-8,705	-20,075	予算比	B		

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業 (関連催事)

全23事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
9	企画展1 美術館建築展 関連催事 キュレータートーク 展示作品について担当学芸員が解説を行う。料金無料（要観覧券） ①5月6日 ②6月7日 ※視覚障がいのある方への対応を予定		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	展示室	展示室	参加者数97人 ①5/6(火)47人 ②6/7(土)50人 通常、個展形式が多い建築の展覧会において、第一線で活躍する建築家たちによるグループ展ということで高い注目を集め、キュレータートークへの参加者も多かった。		
			開催日	2回	2回			
			人数	50	97			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	観覧者	支出	0	0	計画比	A	
ジャンル	トーク（建築）	差額	0	0	予算比	A		
10	企画展1 美術館建築展 関連催事 【追加】劇作家によるアフタートーク 本展のために制作された山本卓卓氏による詩集作品「空間の詩」についてのトーク（料金無料）		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	エントランス	エントランス	6/1（日）参加者12人 本展のために制作された詩集作品「空間の詩」の制作秘話と詩集購入者に向けたサイン会を実施。茅ヶ崎が舞台の作品を制作したことに対し、作家本人に直接お礼を伝える参加者がいた。		
			開催日	1回	1回			
			人数	10	12			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	観覧者	支出	0	0	計画比	A	
ジャンル	トーク（演劇・詩）	差額	0	0	予算比	A		
計	企画展1 美術館建築展 関連催事一式		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			事業件数	全9事業	全10事業	上記、参照		
			人数(延べ)	1628	1233			
			参加料収入	792,600	527,900			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット		支出	833,410	1,720,358	計画比	B	
	ジャンル		差額	-40,810	-1,192,458	予算比	B	

実施事業一覧

公益目的事業1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業（関連催事）

全23事業

■ 表2-2 企画展2 吉田耕三展 関連催事

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	企画展2 吉田耕三展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	対談 うつわを集める楽しみ、みる楽しみ		会場	松籟庵	松籟庵	6/22（日）参加者17人（うち関係者1人）		
	作品を前にして、やきものを集める楽しみを学ぶ。 講師：荒川 正明（本展監修/学習院大学教授）/黒田 耕治（しぐや（株）黒田陶苑） ＊開催日変更		開催日	6月23日（予定）	6月22日	松籟庵で、黒田陶苑所蔵の茶器で抹茶を飲み、吉田耕三が好んだ和菓子を食べながら、関係者の対談を聞く企画。参加者の中には茶道経験者も多く、「魯山人や加守田など展覧会に出品されている作家の茶器に触れることができた」と好評だった。		
			人数	20	17			
			料金	1,000	1,000			
			参加料収入	20,000	16,000			
			その他収入	0	0			
メインターゲット		観覧者	支出	66,820	37,080	計画比	B	
ジャンル		トーク（陶芸）	差額	-46,820	-21,080	予算比	A	
2	企画展2 吉田耕三展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	対談 うつわを愛した吉田の素顔		会場	エントランス	エントランス	6/28(土) 参加者37人		
	生前の吉田耕三氏をよく知る野田秀恵氏と当館長の対談。 講師：野田 秀恵（吉田耕三弟子）/小川 稔（当館長）		開催日	1回	1回	吉田耕三の弟子の一人である野田秀恵氏と当館館長の対談。作品と本人に関する貴重なエピソードを伺う機会となった。対談終了後には、熱心に質問をする参加者も見受けられた。		
			人数	30	37			
			料金	500	0			
			参加料収入	15,000	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット		観覧者	支出	16,705	16,705	計画比	A	
ジャンル		トーク（陶芸）	差額	-1,705	-16,705	予算比	B	
3	企画展2 吉田耕三展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	キュレータートーク		会場	展示室	展示室	参加者数104人 ①7/12(土)26人 ②8/10(日)21人 【追加】③8月3日(日)ミニトーク24人 【追加】④8月24日(日)ミニトーク33人		
	展示作品について担当学芸員が解説を行う。料金無料（要観覧券） ①7月12日 ②8月10日		開催日	2回	4回	会期前半観覧者数が少なかったため、短時間のミニトークを追加で2回実施したことで観覧者数増加につながった。参加者からは、説明を受けたことで展示内容が分かりやすかったという声があった。		
			人数	50	104			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット		観覧者	支出	0	0	計画比	A	
ジャンル		トーク（陶芸）	差額	0	0	予算比	A	
計	企画展2 吉田耕三展 関連催事一式		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			事業件数	全3事業	全3事業	上記、参照		
			人数(延べ)	100	158			
			参加料収入	35,000	16,000			
			その他収入	0	0			
			支出	83,525	53,785	計画比	A	
			差額	-48,525	-37,785	予算比	A	

実施事業一覧

公益目的事業1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業 (関連催事)

全23事業

■ 表3-2 企画展3 白樺展 関連催事

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	企画展3 白樺展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	講演会		会場	エントランス	エントランス	11/2（日）参加者数47人		
	専門家が語る出展作品についてのトーク		回数	未定	11月2日	日本近代文学と美術、演劇の研究者である松本和也氏を招き、展示内容と補足的な内容に関する講演会を実施。終了後は質問の列ができるなど参加者の関心の高さがうかがえた。		
	当初計画から講師情報追加 講師：松本和也氏（神奈川大学教授） 11月2日（日） 1Fエントランスホール		人数	50	47			
			料金	500	0			
			参加料収入	25,000	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	観覧者	支出	33,411	33,069	計画比	B		
ジャンル	トーク（文学）	差額	-8,411	-33,069	予算比	B		
2	企画展3 白樺展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	ワークショップ①		会場	アトリエ	アトリエ	9/23（火祝）参加者数31人 ①16名 ②15名		
	展覧会の主軸である雑誌『白樺』に関連し、本の構造を学び実際に作るワークショップ。 当初計画から講師情報追加 手製本づくり 講師：植村愛音氏（手製本工房ヨンネ主催）（2回） 9月23日（火・祝）①11:00～13:00、 ②14:30～16:30		回数	2回	2回	本の修復工房によるワークショップ。大量生産の雑誌向けの製本の仕方、紙の種類などについて講演が実施された。定員に満たなかったため、告知方法等の改善する。		
			人数	32	31			
			料金	1,000	1,000			
			参加料収入	32,000	31,000			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	20～40代（本好き）	支出	33,411	63,719	計画比	B		
ジャンル	造形WS	差額	-1,411	-32,719	予算比	B		
3	企画展3 白樺展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	ワークショップ②		会場	アトリエ	アトリエ	10/13（月祝）参加者数16人 ①8人 ②8人		
	岸田劉生が手掛けた『白樺』の表紙デザインをもとにした図案のしおりを編むワークショップ。 当初計画から講師情報追加 カード織り体験 講師：貴洞彩(salvia) 10月13日（月・祝）①11:00～13:00、 ②14:30～16:30		回数	2回	2回	日本刺繍を専門とする講師によるワークショップ。参加者は、展覧会を見学した後に制作体験をすることで、展示内容である自給自足を理想とした「新しき村」を、体験を通じて理解する様子が見られた。		
			人数	32	16			
			料金	1,000	2,000			
			参加料収入	32,000	32,000			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	10～40代（墨好き）	支出	33,411	59,720	計画比	B		
ジャンル	造形WS	差額	-1,411	-27,720	予算比	B		
4	企画展3 白樺展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	キュレータートーク		会場	展示室	展示室	参加者数34人 ①9/6（土） 21人 ②10/26（日） 13人		
	展示作品について担当学芸員が解説を行う。（2回）料金無料（要観覧券） ①9月6日（土） ②10月26日（日）		回数	2回	2回	文学、美術及びゲームファンなどの様々な客層の参加があったが、当初想定よりも人数が集まらなかったため、告知方法の改善をはかる。		
			人数	50	34			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	観覧者	支出	0	0	計画比	B		
ジャンル	トーク（文学）	差額	0	0	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業（関連催事）

全23事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
5	企画展 3 白樺展 関連催事		開催方法	主催	主催	総評		
	館長トーク		会場	展示室	展示室	開催なし 館長に当館の収蔵作品についてトークしていただくことが美術館として意義高いと考えたため、「白樺展」での開催ではなく、当館の収蔵作品を展示する「銅版画展」での実施に変更した。		
	展示作品について館長が解説を行う。 （2回）料金無料（要観覧券）		回数	2回	0			
			人数	50	0			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	観覧者	支出	0	0	計画比	B	
ジャンル	トーク（文学）	差額	0	0	予算比	A		
計	企画展 3 白樺展		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	関連催事一式		事業件数	全5事業	全4事業	上記、参照		
			人数(延べ)	214	128			
			参加料収入	89,000	63,000			
			その他収入	0	0			
			支出	100,233	156,508			
			差額	-11,233	-93,508	予算比	B	

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業（関連催事）

全23事業

■ 表4-2 企画展4 銅版画展 関連催事

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	企画展 4 銅版画展 関連催事 講演会「50年代 版画界の転換期」 1950年代の版画界の最前線に立っていた浜田知明と菅野陽。二人を取り巻く当時の動向を有識者を招いてレクチャー。 講師：水沢勉（元神奈川県立近代美術館長） 実施日：2026年1月31日(土)14:00-15:00		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	エントランス	エントランス	1/13（土）参加者数34人		
			回数	1回	1回	出展作家の浜田知明と交流があり、本展の内容と関わりの深い講師による講演会を実施。過去の展覧会図録と作家本人から贈呈された書籍を用いた説明や、銅版画界における作家の国際的評価について紹介があり、展示内容を多角的に補完する講座として実施した。		
			人数	30	34			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	50代～70代	支出	16,705	18,370	計画比	A		
ジャンル	トーク(収蔵作品)	差額	-16,705	-18,370	予算比	B		
2	企画展 4 銅版画展 関連催事 キュレータートーク 展示作品について担当学芸員が解説を行う。料金無料（要観覧券） ①12月21日(日) ②1月17日(土) ③2月14日(土)		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	展示室	展示室	参加者数36人 ①12/21(日)9人 ② 1/17(土)17人 ③ 2/14(土)10人		
			回数	2回	3回	計画時より回数を増やして実施。参加者の中にはリピーターもあり、銅版画や本展への関心の高さが窺えた。		
			人数	50	36			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	観覧者	支出	0	0	計画比	B		
ジャンル	トーク(収蔵作品)	差額	0	0	予算比	A		
3	企画展 4 銅版画展 関連催事 館長トーク 展示作品について館長が解説を行う。 （2回）料金無料（要観覧券） ①1月10日(土) ②2月21日(土)		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	展示室	展示室	参加者数16人 ①1/10(土)8人 ②2/21(土) 8人		
			回数	2回	2回	館長と来館者が直接交流できる機会であり、当館収蔵品の魅力に触れていただく場として開催した。ウェブサイトおよびSNSで告知を行ったが、参加人数が計画より少ない結果となったため、実施日を早めに確定しチラシに掲載する。		
			人数	50	16			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	観覧者	支出	0	0	計画比	B		
ジャンル	トーク（文学）	差額	0	0	予算比	A		
計	企画展 4 銅版画展 関連催事一式		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			事業件数	全2事業	全3事業	上記、参照		
			人数(延べ)	80	86			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
			支出	16,705	18,370			
			差額	-16,705	-18,370	予算比	B	

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(1) 美術館展覧会事業（関連催事）

全23事業

■ 表7-2 共催展3 茅ヶ崎美術家協会展 関連催事

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	共催展3 第43回 茅ヶ崎美術家協会展 一色みつけ 形みつけから 抽象へ 落書きよりおもしろい !!— 日 時：3月8日(日) 13:00～14:30 講 師：忠隈宏子 場 所：美術館2階アトリエ 対 象：どなたでも（親子参加大歓迎） 内 容：マーブリング、糸引き画法等による制作 参加費：無料（事前申込不要）		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	アトリエ	アトリエ	3/8（日）参加者数27人		
			回数	1 回	1 回	今年で2度目の開催となり、美術家協会会員の専門分野を活かした絵画制作を行った。老若男女が楽しめる内容であり、展示中の作品の作家本人と直接話ができる機会となったため、参加者から好評な企画となった。		
			人数	20	27			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	観覧者	支出	0	0		A	
	ジャンル	造形WS	差額	0	0	予算比	A	
2	共催展3 第43回 茅ヶ崎美術家協会展 かとうくみ ライブペインティング 日 時：3月8日(日) 14:30～16:00 講 師：かとうくみ 場 所：美術館エントランスホール		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	エントランス	エントランス	3/8（日）参加者数119人		
			回数	1 回	1 回	茅ヶ崎在住の人気水彩画家を招聘し、公開制作イベントを実施。本イベントを目当てに来館した方が展示にも足を運ぶ様子が見られ、茅ヶ崎美術家協会展の周知にも寄与した。完成作品は会期中エントランスホールに展示し、来館者が鑑賞できる環境を整えた。		
			人数	50	119			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	観覧者	支出	0	0	計画比	A	
	ジャンル	公開制作	差額	0	0	予算比	A	
3	共催展3 第43回 茅ヶ崎美術家協会展 作品研究会 日時：3月15日(日) 13:00－14:00 会場：美術館展示室 料金：無料		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			会場	展示室	展示室	3/15（日）参加者数27人		
			回数	1 回	1 回	一般公募入選者が集い、協会会員から一人ひとり講評を受ける研究会を実施した。会員の参加率も高く、交流の場として終始和やかな雰囲気にも包まれた催しとなった。		
			人数	15	27			
			料金	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	観覧者	支出	0	0	計画比	A	
	ジャンル	公開作品研究会	差額	0	0	予算比	A	
計	共催展3 第43回 茅ヶ崎美術家協会展 関連催事一式		開催方法	共催	共催	総評	継続	
			事業件数	全3事業	全3事業	上記、参照		
			人数(延べ)	85	173			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
			支出	0	0	計画比	A	
			差額	0	0	予算比	A	

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(2) 講座・ワークショップ事業

全8事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	職場体験 小学生・中学生を対象とした、地域の美術や美術館業務に関するインタビューや、業務体験の受け入れ。		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	1回目：7/8(火)アレセイア湘南中学校1人 2回目：8/5(火)鶴嶺中学校4人 3回目：8/15(金)森村学園中等部2人 4回目：10/24(金)円蔵中学校4人 5回目：10/31(金)松林中学校4人 6回目：11/6(木)中島中学校4人 11/7(金)中島中学校3人 7回目：11/26(水)寒川東中学校2人 8回目：1/14(水)北陽中学校支援級6人（生徒4人+教員2人）		
			回数	8回	8回			
			人数（延べ）	24	30			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
		その他収入	1,298,000	0				
	メインターゲット	小学生、中学生	支出	9,664,450	0	計画比	A	
	ジャンル	文化活動支援	差額	-8,366,450	0	予算比	A	
2	インターンシップ 県内高等学校の生徒を対象とした、美術館に関わる質問や業務体験の受け入れ。		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	7/25(金)、7/26(土) 1人		
			日数	2日	2日	大船高等学校、湘南台高等学校から計2人の申し込みがあったが、生徒の事情により実際の参加は1人。 受付監視業務、ワークショップ補助体験など、美術館の仕事を積極的に体験していただいた。参加者が1人だったが、通常のインターンシップより充実した内容となり参加した生徒からは好評だった。		
			人数（延べ）	6	2			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
		その他収入	0	0				
	メインターゲット	高校生	支出	0	0	計画比	B	
	ジャンル	文化活動支援	差額	0	0	予算比	A	
3	博物館実習 美術館・博物館の学芸員資格の取得を目指す学生に対して、茅ヶ崎市美術館の概要、学芸員の業務、美術館の運営などについて、講義や実習を通して学ぶ機会を提供。		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	美術館	美術館	延べ参加者数20人(5名*4日) 7/29(火)、7/30(水)津波警報発令に伴い中止 7/31(木)、8/1(金)、8/3(日) 受入5人（東京都立大、一橋大学大学院、東京工芸大学、大東文化大学、工学院大学） 応募者：16人（学習院大学、多摩美術大学、東海大学、青山学院大学、鶴見大学、神奈川大学、女子美術大学、国土館大学、桜美林大学、松蔭大学、日本大学） 会場の作品をもとにワークシート作成や展覧会企画書作成など実践的な実習を実施。		
			日数	5日	4日			
			人数（延べ）	25	20			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
		その他収入	0	0				
	メインターゲット	大学生	支出	0	0	計画比	B	
	ジャンル	文化活動支援	差額	0	0	予算比	A	
4	社会体験 県内の教員経験5年目の方を対象とし、美術館に関わる業務体験や学校教育で美術を活かす方法など、学芸員と一緒に考える研修。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	美術館	美術館	実施日を早めに確定し、3か月前にはHPで告知をアップするなど、早めの周知に努めたが参加申し込みが無かったため実施が叶わなかった。今後は周知内容・周知方法について検討する。		
			日数	2日	0日			
			人数（延べ）	10	0			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
		その他収入	0	0				
	メインターゲット	教員	支出	0	0	計画比	B	
	ジャンル	文化活動支援	差額	0	0	予算比	A	

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(2) 講座・ワークショップ事業

全8事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
5	美術館講座		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	主に美術館長による講座。一年度につき全6回の連続講座によって、美術史の一端をひもとく内容。		会場	高砂コミセン	高砂コミセン	延べ参加者数148人 1回目：1/11 28人 2回目：1/18 26人 3回目：1/25 27人 4回目：2/8 8人 5回目：2/15 32人 6回目：2/22 27人 館長による美術史の講座。参加者から「勉強になった」との意見が多数あり、今後の継続を期待する声もあった。		
			回数	6回	6回			
			人数（延べ）	240	148			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	60代～80代	支出	0	0	計画比	B		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	0	予算比	A		
6	自然ワークショップ 大学連携 「オリジナル絵帽子（えぼし）をつくろう！」		開催方法	共催	共催	総評	継続	
	東京造形大学の学生企画による地域を活かしたものづくりワークショップ。 （＊費用はすべて造形大学が負担）		会場	美術館	美術館	7/5 10人（子5人＋保護者5人） 7/6 11人（子5人＋保護者6人） 美術館周辺をリサーチし、烏帽子岩の形の帽子に絵を描くワークショップ。参加者からは、「大学生たちの指導のもと自由なものづくりを楽しむことができた」と好評だった。リピーターが増えているプログラムである。		
			回数	2回	2回			
			人数	10	21			
			参加料/人	1,000	1,000			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	小学生	支出	0	0	計画比	A		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	0	予算比	A		
7	自然ワークショップ 大学連携 「海のおともだち！コラージュでポストカードをつくろう！」		開催方法	共催	共催	総評	継続	
	東京造形大学の学生企画による地域を活かしたものづくりワークショップ。 （＊費用はすべて造形大学が負担）		会場	美術館	美術館	7/5 参加者なし 7/6 5人（子3人＋保護者2人） 美術館周辺をリサーチし、茅ヶ崎と海をテーマにポストカードを作成。内容により参加者数の増減があるため、事業の魅力を伝えられるように周知方法を検討する。		
			回数	2回	2回			
			人数	10	5			
			参加料/人	500	500			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	小学生	支出	0	0	計画比	B		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	0	予算比	A		
8	学校団体鑑賞会		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	教育課程に基づく教育活動として、展覧会を無料で鑑賞できるプログラム。美術館での鑑賞マナーや展覧会の簡単な説明も希望に応じて実施。		会場	美術館	美術館	参加者数738人 （児童176人、生徒440人、教師101人、一般21人） 子どもたちが美術館に来館する貴重な機会となっている団体鑑賞。次世代育成の観点からも今後も積極的に受入れ体制を整えていく。		
			回数	15回	19回			
			人数	300	738			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
メインターゲット	小学生	支出	0	0	計画比	A		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	0	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

文化芸術教育プログラム			全7事業					
No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	文化芸術教育プログラム あかちゃんとおとなの方への「ウェルカムカード」		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	美術館	美術館	参加者数231人 (子87人、大人144人)		
	文化芸術教育プログラムの一環として、 ご出産されたご家族へ、茅ヶ崎市美術館 の展覧会を「無料」で3回観覧できる 「ウェルカムカード」をプレゼント。 対象：案内状が配布された家族（市内在 住）、使用期限：お子さま満3才まで（観 覧3回まで）		回数	通年	通年	未就学児の来館のきっかけとなる事業。令和7 年茅ヶ崎市文化生涯学習プラン推進委員の指摘 によりウェルカムカードの表記について、リ ニューアルを実施。未就学児向けの試みは財団 で引き続き事業を計画する。		
			人数	100	231			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	102,000	0			
			その他収入	49,000	49,000			
メインターゲット	乳幼児と保護者	支出	151,000	0	計画比	A		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	49,000	予算比	A		
2	文化芸術教育プログラム 先生のための10日間		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	美術館	美術館	参加者数58人 ①4/1-4/13 7人 ②6/17-6/29 31人 ③9/2 -9/15 15人 ④12/13-12/24 5人		
	文化芸術教育プログラムの一環として、 美術館で開催される展覧会の最初の10日 間、子どもたちとともに過ごす先生たち を、美術館の展覧会に招待。 対象：保育園、幼稚園、小、中、高、大 学の教員、学童スタッフ		日数	40回	52回	参加者は、自身の興味から参加される方と学校 の鑑賞授業に役立てたいと参加する方がおり、 アンケートには「本物を見る重要性に気づい た」という感想が多く見受けられた。		
			人数	40	58			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	86,000	0			
			その他収入	114,000	114,000			
メインターゲット	教員	支出	200,000	103,358	計画比	A		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	10,642	予算比	A		
3	文化芸術教育プログラム 先生応援ギャラリーツアー		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	美術館	美術館	参加者数14人 ①8/23（土）9人 ②12/27（土）5人		
	文化芸術教育プログラムの一環として、 美術館教育専門のエducーターによる 先生たちに向けた鑑賞プログラムと座談 会。美術館訪問や鑑賞授業のヒントを得 る機会を提供。8/23 講師：荒川正明森 谷美保（東京工芸大学教授）、12/27講 師：細矢芳（アーティゾン美術館 教育普 及部学芸員）		回数	2回	2回	夏は展示監修者2名による鑑賞プログラムと展示 室ツアーを実施。冬は教員が生徒たちのことを 考えつつ取り組むアートワークを実施。作品解 説を聞くことよりも子どもたち自身による作品 の捉え方と展示室での鑑賞の重要性が伝わる回 となった。		
			人数	20	14			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	12,000	0			
			その他収入	67,000	67,000			
メインターゲット	教員	支出	79,000	67,285	計画比	B		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	-285	予算比	B		
4	文化芸術教育プログラム 館長おでかけ講座 「デジタルアーカイブを活用し『問い』 の力を育む」		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	学校	学校	2/17（火） 松林中学校 参加者数191人（生徒183人、教師8人）		
	文化芸術教育プログラムの一環として、 美術館館長が学校を訪れ、地域にゆかり のあるアーティストについてさまざまな 視点から語る講座。 ※学校側の要望に応えさまざまなテーマ で行うことも可能。		回数	1回	1回	書道家・井上有一の生涯を伝える中で、松林中 学校で教師をしていた側面にもふれ、身近な存 在として感じてもらう講義。達筆であることだ けが字ではない、人と作品の個性の重要性を伝 える回となった。		
			人数	50	191			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	42,000	42,000			
メインターゲット	中学生	支出	42,000	0	計画比	A		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	42,000	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

文化芸術教育プログラム

全7事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
5	文化芸術教育プログラム 学芸員おでかけ講座 「デジタルアーカイブを活用し『問い』の力を育む」 子どもたちの考える力と調べる力を育むことを目的に、デジタルアーカイブの活用を講義と実践で学ぶ講座。 受講後、興味を持ったものを実際に鑑賞できるよう、美術館の展示とあわせた内容とする。 ※学校側の要望に応えさまざまなテーマで行うことも可能。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	学校	学校	3/4（水） 浜須賀中学校 参加者数251人（生徒246人、教師5人）		
			回数	1回	1回	学校側の要望により、湘南にちなんだ浮世絵の講義を実施。南湖など聞き馴染みのある地名を交えながら、クイズを取り入れ、親近感を持ってもらうように努めた。今後の学習に活用できるように「ちがだべ」などの使い方を講義。		
			人数	30	251			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
		その他収入	42,000	42,000				
メインターゲット	小学生、中学生	支出	42,000	0	計画比	A		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	42,000	予算比	A		
6	文化芸術教育プログラム アーティストによる出張ワークショップ 「オンラインコンテンツを活用し、デジタル表現に触れ、つくる力を育む」 文化芸術教育プログラムの一環として、美術館ゆかりのアーティストが学校に赴いたり、オンラインでつなげて、ワークショップを実施。子どもたちがアーティストと交流することで、学校ではなかなかできない新たな表現活動にふれる機会にする。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	美術館	美術館	8/28（木） 松浪中学校 参加者数12人（生徒10人、教師2人） 講師：久世祥三（合同会社マスラックス）		
			回数	1回	1回	タブレットを使った音楽づくりを実施。生徒たちの「お気に入りの風景」をテーマにしたデジタル音楽づくりは、参加生徒からも好評だった。成果物は「中学校展」で展示。		
			人数	10	12			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
		その他収入	54,000	54,000				
メインターゲット	小学生、中学生	支出	54,000	53,330	計画比	A		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	670	予算比	A		
7	文化芸術教育プログラム オープン美術館 冬の3DAYS 文化芸術教育プログラムの一環として、美術館のアトリエを活用し、講師とともにモノづくりができる3日間。		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
			会場	美術館	美術館	12/19（金）参加者数68人 （未就学児36人、保護者32人） 12/20（土）参加者数88人 （未就学児29人、小学生15人、保護者44人） 12/21（日）参加者数103人 （未就学児36人、小学生14人、保護者53人）		
			日数	3日	3日	未就学児の親子に好評で来年も楽しみにしているという声があった。未就学児向けの試みは財団で引き続き事業を計画する。		
			人数	100	259			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
		その他収入	331,000	331,000				
メインターゲット	未就学児、小学生、保護者	支出	331,000	328,354	計画比	A		
ジャンル	文化活動支援	差額	0	2,646	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業

(3) 松籟庵講座・ワークショップ事業

全8事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	和の文化倶楽部 「茶道入門」		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	日本の伝統文化に親しむ機会を提供する和の文化倶楽部シリーズの事業。 令和7年度は、和の文化倶楽部としての催事実施回数を拡充し、事業を実施。 本催事は、地元講師による、茶道の入門講座で、茶道や茶室に日頃触れる機会のない方を対象とし、その魅力をお伝えして参ります。		会場	書院	書院	20代から70代以上まで40人が参加（当日キャンセル3人）。 本催事は、毎年実施する催事ではないが、幅広い年齢層から偏りなく参加があった。茶道に関する催事実施の要望が多かったことを踏まえ、今後も日本の伝統文化に親しむ機会を提供する「和の文化倶楽部」の催事種目の一つとして、実施を検討する。また、改善継続の為、当日キャンセル対策を検討する。		
			開催日or回数	3回	3回			
			人数	45人	40人			
			参加料/人	1,000	1,000			
			参加料収入	45,000	40,000			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	初心者（全年齢）	支出	175,000	133,376	計画比	B	
ジャンル	伝統文化（茶道）	差額	-130,000	-93,376	予算比	A		
2	和の文化倶楽部 「箏体験教室」大人向け		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	日本の伝統文化に親しむ機会を提供する和の文化倶楽部シリーズの事業。 令和7年度は、和の文化倶楽部としての催事実施回数を拡充し、事業を実施。 地元の演奏家を講師とし、伝統楽器『箏』と、演奏家本人による演奏に触れる機会を創出。 令和6年度に初めて大人を対象とした事業を実施した処、募集人員以上の応募をいただきご好評であった為、継続実施。		会場	書院	書院	事業変更（実施回数を1回から2回に変更） 申込枠16人に対し23人の応募がありキャンセル待ち対応を行った。 受益者負担の高い金額設定であったにもかかわらず、応募状況も良好で計画比・予算比共に当初計画を達成する結果となったため、今後も日本の伝統文化を扱う和の文化倶楽部の主力事業として、実施時期を検討する。		
			開催日or回数	1回	2回			
			人数	8人	16人			
			参加料/人	2,500	2,500			
			参加料収入	20,000	40,000			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	高校生以上	支出	59,000	56,749	計画比	A	
ジャンル	伝統文化（邦楽）	差額	-39,000	-16,749	予算比	A		
3	和の文化倶楽部 「箏体験教室」子供向け		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	日本の伝統文化に親しむ機会を提供する和の文化倶楽部シリーズの事業。 令和7年度は、和の文化倶楽部としての催事実施回数を拡充し、事業を実施。 将来の伝統文化の担い手となる小学生・中学生を対象とし、地元の演奏家を講師に、伝統楽器『箏』と演奏家本人による演奏に触れる機会を創出。		会場	書院	書院	事業変更（実施回数を2回から1回に変更） 収支改善のため計画変更を行ったが、人数・収支共に目標値は未達となった。 子どもの日本文化体験の場として活用されるよう、募集人員・実施回数の見直しを図り、実施時期を踏まえ今後も事業開催を検討していく。		
			開催日or回数	2回	1回			
			人数	16人	6人			
			参加料/人	1,000	1,000			
			参加料収入	16,000	6,000			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	小学生・中学生	支出	59,000	53,989	計画比	B	
ジャンル	伝統文化（邦楽）	差額	-43,000	-47,989	予算比	B		
4	和の文化倶楽部 「和裁入門」		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	日本の伝統文化に親しむ機会を提供する事業。 地元の和裁師を講師とし、和裁の基礎を学ぶ体験講座を実施する。 前年度までの実施内容を踏まえ、ステップアップした内容を計画し、かつ、初参加の方でも気軽に参加できる内容とする。		会場	書院	書院	「飾り紐」をテーマに事業実施。 参加人数・収支共に未達となったが、リピーターの参加もあったことや、イベントへの満足度では、参加者の100%の方が満足と回答しており、参加者の満足度は高かった。 募集人員・実施回数・内容の見直しを行い、今後も事業開催を検討していく。		
			開催日or回数	3回	3回			
			人数	21人	11人			
			参加料/人	2,000	2,000			
			参加料収入	42,000	22,000			
			その他収入	0	0			
	メインターゲット	初心者（全年齢）	支出	187,000	87,392	計画比	B	
ジャンル	伝統文化（和裁）	差額	-145,000	-65,392	予算比	A		

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籙庵事業

(3) 松籙庵講座・ワークショップ事業

全8事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
5	おやこ茶道教室		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	施設利用の稼働率が下がる夏季の施設活用の一環として、空き状況を見ながら計画する事業。 夏休みの小・中学生とその保護者向けの入門講座として、おやこで茶道について、お辞儀の仕方など礼に始まり、床の間の拝見やお抹茶を点てるまでを体験する。毎年度大変人気の講座である為、令和7年度も1日に2回の実施とし、参加機会の拡充を図る。		会場	書院	書院	小・中学生と保護者が一緒に茶道を体験できる事業。 3名1組での応募もあり、申込者も多いことから、実施する際の配置や申込者を増やせるように改善し、今後も継続実施することとする。		
			開催日or回数	2回	2回			
			人数	40人	39人			
			参加料/1組(2名)	1,000	1,000			
			参加料収入	20,000	19,500			
		その他収入	0	0				
メインターゲット	小・中学生と保護者	支出	84,000	77,907	計画比	B		
ジャンル	伝統文化（茶道）	差額	-64,000	-58,407	予算比	A		
6	季節の呈茶席		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	庭園の景観が見ごろとなる「新緑」と「紅葉」の時期に合わせて、庭園を見ながらお気軽にお抹茶とお菓子を楽しみ、くつろいでいただきながら、松籙庵に親しんで頂く機会を提供する。 茶道に馴染みの無い方や、外国の方にもお気軽にお茶や茶道に触れていただく機会となるよう『呈茶』等の形式として、事業を実施を計画する。		会場	書院	書院	荒天の影響もあり2回とも予定人数に達しなかったが、満足度は平均91%となった。 初めての参加者も両回50%以上となったことから、継続して開催する。 2回目は、茅ヶ崎市聴覚障害者協会に参加いただきユニバーサルの観点からご意見を伺った。ご意見は、今後の財団ユニバーサル事業に反映する。		
			開催日or回数	2回	2回			
			人数（1回当たり）	100人	172人			
			参加料/人	一般700 中学生以下300	一般700 中学生以下300			
			参加料収入	116,000	107,900			
		その他収入	0	0				
メインターゲット	全年齢	支出	250,200	203,831	計画比	A		
ジャンル	伝統文化（茶道）	差額	-134,200	-95,931	予算比	A		
7	夏季学校向け施設開放		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	施設利用の稼働率が下がる夏季の施設活用の一環として計画する事業。 茅ヶ崎市および近隣地域の学生が夏休みの時期に、茶道をはじめ伝統文化に取り組む活動の支援を目的として、施設の無料開放を行う。 松籙庵を使って活動の成果発表に繋がるような機会提供を図る。		会場	茶室・書院	茶室・書院	申込校数は、当初計画を達成した。 案内の発送先の見直しにより経費削減に努め、支出額を削減した。 参加校からは「部活動の成果発表等に利用できる」と好評で継続を望む声が多いため、今後も継続実施を計画する。		
			開催日or回数	7回	7回			
			人数（1回当たり）	7校	7校			
			参加料	0	0			
			参加料収入	0	0			
		その他収入	0	0				
メインターゲット	中学校～大学	支出	119,700	108,780	計画比	A		
ジャンル	伝統文化（全般）	差額	-119,700	-108,780	予算比	A		
8	講座受講申込代行		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	新たな収入手段を開拓の為、貸館利用者が開催するイベントについて、参加申し込みの事務代行をし、手数料収入の獲得を図る。		会場	茶室・書院	茶室・書院	今回は、手数料負担を負ってまでチケット販売を依頼する貸館利用者による大きなイベントの開催がなく、実績を作ることは出来なかった。 今後も、新たな収入手段の開拓の為、貸館利用者が開催する周年事業等のイベント等に目星をつけて、参加申し込みの事務代行の周知を行い、手数料収入の獲得を目指す。		
			開催日or回数	2回	0回			
			人数（1回当たり）	5人	0人			
			手数料/枚	10.0%	10.0%			
			参加料収入	3,000	0			
		その他収入	0	0				
メインターゲット	施設利用者	支出	0	0	計画比	B		
ジャンル	伝統文化（全般）	差額	3,000	0	予算比	B		

実施事業一覧

公益目的事業 1

2 美術館・松籟庵事業
文化芸術教育プログラム

全1事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	文化芸術教育プログラム		開催方法	主催	主催	総評	廃止	
	「和菓子作りにチャレンジ」		会場	小・中学校	小・中学校	10/24 26人(市内中学校 家庭部) 10/30 58人(市内小学校 6学年2クラス) 11/13 107人(市内小学校 6学年3クラス) 募集枠以上に応募があり、今年も大変好評なプログラムとなった。「来年も楽しみにしている」という継続を望む声もあった。日本の伝統的な食文化を伝える事業として、財団で引き続き計画する。		
	文化施設3館で実施する「文化芸術教育プログラム」の一環で、若い世代に日本の伝統的な食文化を伝える機会を創出する。 地元の和菓子職人が市内の学校に出向き、日本の暦や自然に因んだ繊細な細工や彩りを実際に体験し、もの作りの楽しさを学び、想像する力を養う。		開催日or回数	3回	3回			
			人数	120人	191人			
			参加料/人	0	0			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	206,000	206,000			
	メインターゲット	市内小・中学生	支出	206,000	191,923	計画比	A	
	ジャンル	伝統文化（和菓子）	差額	0	14,077	予算比	A	

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
1	オープン教室(春季)		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	平日の各曜日(月・水・金)に、体幹トレーニング、リズム運動、ヨガ&ストレッチなど内容が異なる教室を予約不要で誰でも気軽に1回500円で参加できる。 会場は、総合体育館・市体育館・茅ヶ崎公園、開催時期は4~7月、各回定員は20名を予定。		会場	総合体育館ほか	総合体育館ほか	予約不要で気軽に安価に(ワンコイン500円)で)体幹トレーニング、ヨガ&ストレッチなどに参加できる。多くの方に参加していただいて収支黒字。本事業にはリピーターも多く、安定的に収益がある事業。 実施会場、時間帯にバリエーションを持たせ、幅広い層に向けて実施している。		
			開催日or回数	22回	22回			
			人数	440人	640人			
			参加料/人	500	500			
			参加料収入	220,000	320,000			
			その他収入	0	0			
	テーマ	A:エンジョイライフ・ヘルシースポーツプログラム(全世代向き型)	支出	209,000	159,517	計画比	A	
			差額	11,000	160,483	予算比	A	
	2	ダンスパフォーマンスワークショップ		開催方法	共催	共催	総評	継続
4人組ダンスパフォーマンスグループ、シットキングスのメンバー、茅ヶ崎出身のkazuki(カズキ)を迎えてのワークショップ。 海外のダンスコンテスト優勝経験のあるトップパフォーマーと身近にふれあう交流事業。		会場	総合体育館	総合体育館	日本でも一流のトップパフォーマーからハイレベルなダンス指導が受けられる。参加料金の手数料(10%)収入のため、事務的負担、経費負担少なく実施。 初心者向け2回、経験者向け1回の合計3回(それぞれ定員100名)の実施のうち経験者向けの回が定員割れ。次回行う場合は実施時間帯を再考する必要あり。			
		開催日or回数	5月4日	5月4日				
		人数	300人	257人				
		参加料/人	6,600	6,600				
		参加料収入	198,000	169,620				
		その他収入	0	0				
テーマ		F:トップアスリートとの触れ合い創出プログラム	支出	9,000	7,600	計画比	B	
			差額	189,000	162,020	予算比	B	
3		少年野球教室		開催方法	共催	共催	総評	継続
	横浜DeNAベイスターズの協力のもと、元プロ野球選手を講師に招いて市内少年野球の選手及び指導者を対象に野球教室を茅ヶ崎野球協会との共催で実施。		会場	茅ヶ崎公園	茅ヶ崎公園	元プロ野球・横浜DeNAの選手による直接指導があり、子どもたちはトップレベルの技術に間近で触れることで、野球への関心や意欲が一層高まった。茅ヶ崎野球協会の全面的な協力により、参加費用の負担なく実施。対象は市内少年野球チームだが、トップアスリートとの交流は子どもだけでなく、付き添いの保護者や指導者にも刺激となり、野球コミュニティ全体に好影響を与えた。		
			開催日or回数	5月	5月4日			
			人数	100人	229人			
			参加料/人	0	無料			
			参加料収入	0	0			
			その他収入	0	0			
	テーマ	F:トップアスリートとの触れ合い創出プログラム	支出	0	0	計画比	A	
			差額	0	0	予算比	A	
	4	運動能力を育てるキッズ運動教室		開催方法	主催	主催	総評	継続
音楽に合わせて動作し、リズム感を培うスポーツリズムトレーニングを中心にヨガ、体幹トレーニング等を行い、子どもの運動能力向上に特化した教室。		会場	総合体育館	総合体育館	リズム感を身につけながら運動能力を伸ばすことを目的とした教室で、子どもたちが新たな可能性を引き出せる場として運営。コロナ禍の影響で参加者の減少化傾向であったが、昨年度あたりから回復基調にあり、前年度に続いて黒字を確保。運動が得意な子はもちろん、苦手な子や集団に入りにくい子まで、幅広いニーズに応じて実施している。			
		開催日or回数	全8回	全8回				
		人数	30人	23人				
		参加料/人	4,000	4,000				
		参加料収入	120,000	92,000				
		その他収入	0	0				
テーマ		E:ゴールデンエイジスポーツプログラム(未就学児・小学生向き)	支出	135,000	87,600	計画比	B	
			差額	-15,000	4,400	予算比	A	

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価		
5	ヒップホップダンススクール Vol.1		開催方法	共催	共催	総評	改善継続
	ヒップホップダンスは、その素早い動きやボーリング、ダイナミックな表現から柔軟性まであらゆる特性を有しながら音楽テンポにあわせて踊りやすい、ノリやすいことから馴染みやすい。「表現運動」「リズムダンス」が小学校で必修化されているなか、こども達のダンスへの導入口を提供。(春季プログラム)		会場	総合体育館	総合体育館	エンターテインメント界で豊富な経験と専門的な指導技術を有する講師からハイレベルなコーチを受けられる。湘南地区で様々な教室やイベントを運営する「湘南スポーツラボ」との共催により費用負担なく実施可能。(手数料10%収入)参加人数に課題があるので、PR方法等改善を図る。	
			開催日or回数	全10回	全10回		
			人数	15人	7人		
			参加料/人	11,000	11,000		
			参加料収入	16,500	5,335		
			その他収入	0	0		
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	支出	0	7,600	計画比	B
			差額	16,500	-2,265	予算比	B
6	健康運動教室(春の美筋エクササイズ)		開催方法	主催	主催	総評	改善継続
	軽い運動を中心にヨガ、太極拳、ダンスエクササイズなど毎回異なる種目を行い、自分にあった運動を見つける。		会場	総合体育館	総合体育館	ヨガやボールエクササイズなど、多様なプログラムを通じて自分に合った運動スタイルを発見できる教室で、複数種目を組み合わせた独自のアプローチは他には見られない大きな強みとなっている。コロナ禍以降は参加者が減少し収支も赤字が続いているものの、SNSを活用した発信により、全年齢層へ向けて積極的に参加促進を図っている。	
			開催日or回数	全8回	全8回		
			人数	40人	15人		
			参加料/人	4,000	4,000		
			参加料収入	160,000	60,000		
			その他収入	0	0		
	テーマ	B:エンジョイライフ・個別スポーツプログラム (全世代向き・生きがい創出)	支出	108,000	97,360	計画比	B
			差額	52,000	-37,360	予算比	B
7	親子リズム体操教室(春季)		開催方法	主催	主催	総評	改善継続
	リズムに合わせて親子で一緒に体操をしたり、ゲーム等レクリエーションを行い、スポーツを通して楽しく親子のコミュニケーションを図る。		会場	総合体育館	総合体育館	リズムカルな音楽に合わせて親子で一緒に体操を楽しんだり、ゲーム性を取り入れたプログラムにより、親子のコミュニケーションが自然と深まると好評を得ている。経費を抑えつつ運営しているものの、参加者数にはなお課題があるため、今後の方向性を慎重に見極めていく。SNSなどを活用し、より広い層に向けた情報発信を強化しながら課題解決に取り組んでいる。	
			開催日or回数	4回	4回		
			人数	20組	7組		
			参加料/人	2,500	2,500		
			参加料収入	50,000	17,500		
			その他収入	0	0		
	テーマ	D:親子ふれあいスポーツプログラム (未就学児子育て親子対象) E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	支出	24,000	27,600	計画比	B
			差額	26,000	-10,100	予算比	B
8	トータルリラクゼーション教室(春季)		開催方法	主催	主催	総評	改善継続
	ストレッチやピラティス、ヨガといったゆったりとした動きを中心に体の疲れ解消、柔軟性の向上、体幹の強化を図る。		会場	総合体育館	総合体育館	日常生活や仕事で溜まった疲れを、ストレッチやピラティス、ヨガを中心とした多彩なプログラムでしっかりリフレッシュでき、柔軟性の向上や体幹強化にもつながると好評を得ている。コロナ禍以降は参加者が減少し若干の収支赤字ではあるものの、夜間帯の実施により社会人も参加しやすい点が特色である。SNS等で幅広く募集しながら参加者の掘り起こしに努めている。	
			開催日or回数	8回	8回		
			人数	40人	19人		
			参加料/人	3,000	3,000		
			参加料収入	120,000	57,000		
			その他収入	0	0		
	テーマ	A:エンジョイライフ・ヘルシースポーツプログラム(全世代向き型)	支出	75,000	67,440	計画比	B
			差額	45,000	-10,440	予算比	B

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
9	キッズ体操教室①（とびばこ・てつぼう）		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	子どもが苦手としているとびばこ・てつぼう運動を中心に、楽しみながら運動に取り組むきっかけを提供。 とびばこ：未就学児対象 てつぼう：小学校低学年対象		会場	総合体育館	総合体育館	多くの子どもが苦手意識を持ちやすいとびばこやてつぼう運動を中心に、楽しく取り組むことで自然と自信を育み、苦手克服へとつなげるプログラムとして好評を得ている。数年前に参加費を2,500円から3,000円へ改定し、より安定した運営体制を目指し、収支黒字をしっかりと確保している。		
			開催日or回数	全4回	全4回			
			人数	40人	39人			
			参加料/人	3,000	3,000			
			参加料収入	120,000	116,250			
			その他収入	0	0			
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	支出	86,000	78,000	計画比	B	
			差額	34,000	38,250	予算比	A	
10	運動会直前！春季かけっこ教室		開催方法	共催	共催	総評	改善継続	
	運動会前の短期かけっこ教室。加速、カーブ、反応等の練習のほか、練習前後のタイム測定で効果を測る実践的な教室。		会場	総合体育館	総合体育館	走りの基礎に特化し、重要なポイントを約1時間の集中レッスンで身につけられるため、その場で実践につなげやすく高い効果が期待できるプログラムとなっている。参加料金に含まれる手数料収入（10%）により経費負担を抑えて実施できている一方、参加者数の伸びには課題が残る。		
			開催日or回数	未定	5月22日			
			人数		21人			
			参加料/人		2,200			
			参加料収入	0	4,620			
			その他収入					
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム（未就学児・小学生向き）	支出	0	7,600	計画比	A	
			差額	0	-2,980	予算比	B	
11	中高年齢者の転倒事故防止運動		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	中高年齢者の方を対象とした、転ばないための筋力・体力アップと、万が一転んでしまった時のダメージの少ない転び方について学ぶ教室。		会場	総合体育館		転倒予防に効果的な運動を、柔道の受身を中心に体系的に学べる教室で、中高年層の健康維持や高まる健康志向にしっかり応える有用性の高い事業となっている。茅ヶ崎柔道協会との連携と協力により、余計なコストをかけずに質の高い指導を実現できている点も大きな強みである。		
			開催日or回数	未定	6月7日			
			人数		37人			
			参加料/人					
			参加料収入	0	0			
			その他収入					
	テーマ	C:生涯健康長生きプログラム（高齢者向き型）	支出		7,600	計画比	A	
			差額	0	-7,600	予算比	B	
12	サーフィン＆ボディボード体験教室（一般）		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	未経験者向けのマリンスポーツ教室。豊かな自然環境を活かしたスポーツ、健康づくりの推進を目指し、茅ヶ崎の特色である海を活かした事業。		会場	茅ヶ崎海岸	茅ヶ崎海岸	茅ヶ崎の豊かな自然環境を最大限に活かした独自性の高い事業で、「興味はあったけれど機会がなかった」という大人の未経験者にとって、挑戦の一步を踏み出せる有意義なプログラムとなっている。コロナ禍以降は参加者が減少傾向にあり、収支面では依然として改善の余地がある状況である。		
			開催日or回数	7月12日	7月12日			
			人数	40人	16人			
			参加料/人	4,000	4,000			
			参加料収入	160,000	64,000			
			その他収入	0	0			
	テーマ	B:エンジョイライフ・個別スポーツプログラム（全世代向き・生きがい創出）	支出	119,000	114,522	計画比	B	
			差額	41,000	-50,522	予算比	B	

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
13	サーフィン＆ボディボード体験教室（ジュニア） 子どものための未経験者向けマリンスポーツ教室。豊かな自然環境を活かしたスポーツ、健康づくりの推進を目指し、茅ヶ崎の特色である海を活かした事業。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	茅ヶ崎海岸	茅ヶ崎海岸	茅ヶ崎の豊かな自然を活かした特色のある事業で、子どもたちがマリンスポーツに触れる機会の提供。教室内で海上保安署員による海の安全啓発を行っている。コロナ禍以降は参加者が減少傾向にあり、収支面では依然として改善の余地がある状況である。		
			開催日or回数	7月25日	7月23日			
			人数	30人	15人			
			参加料/人	4,000	4,000			
			参加料収入	120,000	60,000			
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	その他収入	0	0	計画比	B	
			支出	109,000	100,000	予算比	B	
			差額	11,000	-40,000			
14	スタンドアップパドルボード体験教室 未経験者向けマリンスポーツ教室で、大人向けと子ども向けの2クラスを実施。豊かな自然環境を活かしたスポーツ、健康づくりの推進を目指し、茅ヶ崎の特色である海を活かした事業。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	茅ヶ崎海岸	茅ヶ崎海岸	近年人気が高まっているマリンスポーツを気軽に体験できる教室で、参加者に海の魅力を楽しんでもらえる貴重な機会を提供している。教室内では海上保安署員による安全啓発も行い、安心して海と向き合える環境づくりにも力を入れている。コロナ禍以降は参加者が減少し収支面には課題が残るものの、幅広い年代を対象に募集・実施しており、PR方法の改善を図りながら継続して取り組んでいる。		
			開催日or回数	8月2日	8月16日			
			人数	28人	15人			
			参加料/人	4,000	4,000			
			参加料収入	112,000	60,000			
	テーマ	B:エンジョイライフ・個別スポーツプログラム (全世代向き・生きがい創出) D:親子ふれあいスポーツプログラム (未就学児子育て親子対象)	その他収入	0	0	計画比	B	
			支出		110,000	予算比	B	
			差額	112,000	-50,000			
15	夏休み特別イベントかけっこ測定会 茅ヶ崎市内小学生1～6年生を対象にしたかけっこ測定会。 速く走れるようになるには「理由」がある。10mダッシュを測定してからのワンポイントアドバイス、ワンポイント練習。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	総合体育館	総合体育館	茅ヶ崎市内小学校で行ってきた10,000人分のかけっこ測定データをもとに走り方をアドバイス。スタートのこつ、フォームの改善、「気づき」から始める速さの会得を実践。保護者からは「普段はわからない子どもの走力や成長が見られて良かった」などの声をいただき好評を博した。		
			開催日or回数	未定	8月9日・11日			
			人数		369人			
			参加料/人		無料			
			参加料収入	0	0			
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム（未就学児・小学生向き）	その他収入		0	計画比	A	
			支出		7,600	予算比	B	
			差額	0	-7,600			
16	キッズ体操教室②（とびばこ・てつぼう） 子どもが苦手としているとびばこ・てつぼう運動を中心に、楽しみながら運動に取り組むきっかけを提供。 とびばこ：未就学児対象 てつぼう：小学校低学年対象		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	総合体育館	総合体育館	夏休み開催事業の2回目実施。子どもがつまずきやすい種目を、楽しみながら取り組めるよう工夫したプログラムで、自然と自信がつき、苦手克服につなげる事業。 1回目が好評のため複数回実施であるが、参加者減少傾向が見られる。次年度実施については要検討。		
			開催日or回数	全4回	全5回			
			人数	40人	9人			
			参加料/人	3,000	3,000			
			参加料収入	120,000	27,000			
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	その他収入	0	0	計画比	B	
			支出	86,000	78,000	予算比	B	
			差額	34,000	-51,000			

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
17	ともいきゆうえんち		開催方法	共催	共催	総評		
	神奈川県で策定の「ともに生きるかながわ憲章」の理念普及のため、誰もが気軽に参加できる共生の場（インクルーシブな場）を創出するための事業を共催。		会場	総合体育館	総合体育館	誰もが気軽に参加できるインクルーシブな交流の場を創出し、障がい児・者が充実した余暇を過ごすことで生活の質の向上を図ることを目的としており、本財団の事業方針と合致することから、県との共同開催により実施。 ゆるスポーツやeスポーツ等の体験プログラムを通じて、主に若者や子どもを中心に障がいへの理解を深める機会となり、共生社会の推進に寄与する事業となった。		
			開催日or回数	未定	9月13日			
			人数		1000人			
			参加料/人		無料			
			参加料収入	0	0			
	テーマ	G: パラスポーツ普及プログラム	その他収入					
			支出		7,600	計画比	A	
差額			0	-7,600	予算比	B		
18	キッズラグビー無料体験教室		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
	未就学児、小学校低学年を対象とした、初心者向け体験教室。茅ヶ崎ラグビーフットボール協会主催スクール生と共に競技に親しみ、ラグビーの魅力であるチームプレーに触れる。		会場	柳島しおさい公園	柳島しおさい公園	ラグビーを通して体を動かすきっかけづくりにつなげるとともに、チームプレーの楽しさや協力の大切さを体感できるプログラムとして好評を得ている。茅ヶ崎ラグビーフットボール協会の協力により、過度な経費をかけずに質の高い運営が可能となっている点も大きな魅力である。		
			開催日or回数	未定	9月27日			
			人数		17人			
			参加料/人		無料			
			参加料収入	0	0			
	テーマ	E: ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	その他収入		0			
			支出		0	計画比	A	
差額			0	0	予算比	A		
19	オープン教室（秋季）		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	平日の各曜日に、体幹トレーニング、リズム運動、ヨガ&ストレッチなど内容が異なる教室を予約不要で誰でも気軽に1回500円で参加できる。		会場	総合体育館ほか	総合体育館ほか	予約不要かつワンコイン（500円）で参加できる体幹トレーニングやヨガ、ストレッチ等を実施し、市民が気軽に運動に親しめる機会を提供。 多くの参加者を得て、春季に引き続き収支は黒字、安定的な収益を確保できており、継続的に実施可能な事業であると評価。 また、会場や時間帯にバリエーションを持たせることで、幅広い世代・生活スタイルに対応した運動機会の提供につながった。		
			回数	25回	25回			
			人数	480人	693人			
			参加料/人	500	500			
			参加料収入	240,000	346,500			
	テーマ	A: エンジョイライフ・ヘルシースポーツプログラム (全世代向き型)	その他収入	0	0			
			支出	211,000	168,100	計画比	A	
差額			29,000	178,400	予算比	A		
20	ヒップホップダンススクール Vol.2		開催方法	共催	共催	総評	改善継続	
	ヒップホップダンスは、その素早い動きやポージング、ダイナミックな表現から柔軟性まであらゆる特性を有しながら音楽テンポにあわせて踊りやすい、ノリやすいことから馴染みやすい。「表現運動」「リズムダンス」が小学校で必修化されているなか、こども達のダンスへの導入口を提供。（秋季プログラム）		会場	総合体育館	総合体育館	エンターテインメント界で豊富な経験と専門的な指導技術を有する講師からハイレベルなコーチを受けられる。 湘南地区で様々な教室やイベントを運営する「湘南スポーツラボ」との共催により費用負担なく実施可能。（手数料10%収入） 参加人数に課題があるので、PR方法等改善を図る。		
			開催日or回数	全10回	全10回			
			人数	15人	5人			
			参加料/人	11,000	11,000			
			参加料収入	16,500	7,975			
	テーマ	E: ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	その他収入	0	0			
			支出	0	7,600	計画比	B	
差額			16,500	375	予算比	B		

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
21	健康運動教室（秋の美筋エクササイズ） 軽い運動を中心にヨガ、太極拳、ダンスエクササイズなど毎回異なる種目を行い、自分にあった運動を見つける。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	総合体育館	総合体育館	ヨガやボールエクササイズなど、多様なプログラムを通じて自分に合った運動スタイルを発見できる教室で、複数種目を組み合わせた独自のアプローチは他には見られない大きな強みとなっている。 近年参加者減少傾向にあるなかで徐々に回復し、黒字を達成。引き続きPRを行いながら実施。		
			開催日or回数	全8回	全8回			
			人数	40人	25人			
			参加料/人	3,500	4,000			
			参加料収入	140,000	100,000			
	テーマ	B:エンジョイライフ・個別スポーツプログラム （全世代向き・生きがい創出）	その他収入	0	0			
			支出	86,580	97,360	計画比	B	
			差額	53,420	2,640	予算比	B	
22	卓球教室 基礎的技術等を習得し、卓球を通して日頃からスポーツ活動に親しめるきっかけを提供。上・中・初級と各レベルに合わせた指導も行う。		開催方法	主催	主催	総評	改善継続	
			会場	総合体育館	総合体育館	初心者から上級者まで参加者のレベルに応じたクラス分けを行い、それぞれに適した指導を提供する卓球教室として実施。 卓球は年齢や体力に応じて無理なく取り組めるスポーツであり、幅広い世代を対象とした健康づくり・生涯スポーツの推進に資する事業。特に高齢者にとっても安全かつ気軽に身体を動かせる運動機会として有効性が高いと考えられる。		
			開催日or回数	全6回	全6回			
			人数	40人	28人			
			参加料/人	3,000	3,000			
			参加料収入	120,000	84,000			
	テーマ	B:エンジョイライフ・個別スポーツプログラム （全世代向き・生きがい創出） C:生涯健康長生きプログラム （高齢者向き型）	その他収入	0	0			
			支出	120,000	103,600	計画比	B	
			差額	0	-19,600	予算比	B	
23	弓道教室 弓の正しい引き方、体の構え・動作、心気の安定等を短期間で集中的に学ぶことで、より成果が目に見え、弓道の楽しさを実感すると共に、健康・体力の維持増進を図る。		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	総合体育館	総合体育館	弓の正しい引き方だけでなく、健康・体力の維持増進、心の安定にも繋がることが好評の教室事業。 満員の参加により黒字を確立すると同時に日本文化・武道への関心の高さ、および弓道という比較的体験機会の少ない分野に対する潜在的需要の存在を示すかたちとなった。		
			開催日or回数	全8回	全8回			
			人数	20人	20人			
			参加料/人	5,000	5,000			
			参加料収入	100,000	100,000			
	テーマ	B:エンジョイライフ・個別スポーツプログラム （全世代向き・生きがい創出） C:生涯健康長生きプログラム （高齢者向き型）	その他収入	0	0			
			支出	109,800	87,400	計画比	A	
			差額	-9,800	12,600	予算比	A	
24	トータルリラクゼーション教室（秋季） ストレッチやピラティス、ヨガといったゆったりとした動きを中心に体の疲れ解消、柔軟性の向上、体幹の強化を図る。		開催方法	主催	主催	総評	継続	
			会場	総合体育館	総合体育館	日常生活や仕事で溜まった疲れを、ストレッチやヨガを中心とした多彩なプログラムでしっかりリフレッシュでき、柔軟性の向上や体幹強化にもつながると好評を得ている。夜間帯の実施により社会人も参加しやすい点が特色である。 春季実施に比べて参加者が多くなるのが秋季の傾向。黒字収支を達成。		
			開催日or回数	8回	8回			
			人数	40人	31人			
			参加料/人	3,000	3,000			
			参加料収入	120,000	93,000			
	テーマ	A:エンジョイライフ・ヘルシースポーツプログラム（全世代向き型）	その他収入	0	0			
			支出	75,000	67,440	計画比	B	
			差額	45,000	25,560	予算比	B	

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価		
25	小学生フットサル教室		開催方法	主催	主催	総評	改善継続
	子どものからだ・こころを育む小学校低学年向けの体験教室。元プロリーグ選手を指導のもと、幅広い動きや運動を通じて競技に親しむとともに、運動能力発達のきっかけづくりにつなげる。		会場	総合体育館	総合体育館	元プロフットサル（ベルマーレ）選手を講師に迎えた技術面でも本格的な体験教室です。厳しくするところはきっちり指導し、礼儀なども養われる点でも大変好評。定員に対する参加者が少ないのは、総合体育館改修期間の休止を経ての再開にあたり、周知が十分出なかったことが一因と考えられる。次年度は事前の周知や準備を十分に行い、参加者増加に向けて取り組む。	
			開催日or回数	8回	8回		
			人数	20人	8人		
			参加料/人	3,000	3,000		
			参加料収入	60,000	24,000		
			その他収入	0	0		
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	支出	56,000	57,600	計画比	B
26	小学生バドミントン教室		開催方法	主催	主催	総評	継続
	スポーツに親しみ、ルールを守る公平な精神を養い、心身ともに健康的な生活を送ることを目的とする。		会場	総合体育館	総合体育館	バドミントンを通じて児童がスポーツに親しみ、ルールを守る公平な精神を育むとともに、心身の健全な育成を目的として実施。競技人口の多いメジャースポーツでありながら、児童期に体験機会の少ない本競技について、実践的な体験の場を提供することができた。募集は定員に達し、子どもの運動機会の充実およびスポーツへの関心喚起に寄与する事業となった。	
			開催日or回数	全8回	全8回		
			人数	24人	24人		
			参加料/人	5,000	5,000		
			参加料収入	120,000	120,000		
			その他収入				
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	支出	78,000	85,600	計画比	A
			差額	42,000	34,400	予算比	B
27	レディースバドミントン教室		開催方法	主催	主催	総評	継続
	スポーツに親しみ、心身ともに健康なスポーツを取り入れた生活を送ること、地域あるいはサークル活動に参画していくことを目的とする。収支改善のため、実施回数を前回から削減して実施予定。		会場	総合体育館	総合体育館	主婦層を対象にバドミントンを通じてスポーツに親しむ機会を提供し、継続的な運動習慣の定着による心身の健康増進を図ることを目的として実施した。最終日には地域で活動するバドミントンサークルの紹介を行い、参加者が教室終了後も自主的・継続的にスポーツ活動へ参画できるよう支援するなど、地域コミュニティへの参加促進を図った。	
			開催日or回数	全8回	全8回		
			人数	48人	34人		
			参加料/人	5,000	5,000		
			参加料収入	240,000	170,000		
			その他収入	0	0		
	テーマ	B:エンジョイライフ・個別スポーツプログラム (全世代向き・生きがい創出)	支出	140,000	135,600	計画比	B
			差額	100,000	34,400	予算比	B
28	親子リズム体操教室（秋季）		開催方法	主催	主催	総評	継続
	リズムに合わせて親子で一緒に体操をしたり、ゲーム等レクリエーションを行い、スポーツを通して楽しく親子のコミュニケーションを図る。		会場	総合体育館	総合体育館	リズムカルな音楽に合わせ、親子が一体となって体を動かす体操や、遊びの要素を取り入れたプログラムを実施したことで、自然な親子間コミュニケーションの促進が図られ、参加者から高い評価を得た。また、春季に続く本年度2回目の秋季開催となった本事業は、継続的な実施による認知度向上も相まって、前回は上回る参加人数を記録し、子育て世代の健康づくりおよび交流の場として一定の成果を上げた。	
			開催日or回数	全4回	全4回		
			人数	20組	15組		
			参加料/人	2,500	2,500		
			参加料収入	50,000	37,500		
			その他収入	0	0		
	テーマ	D:親子ふれあいスポーツプログラム (未就学児子育て親子対象) E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	支出	20,000	27,600	計画比	B
			差額	30,000	9,900	予算比	B

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価		
29	運動会直前！秋季かけっこ教室		開催方法	主催	主催	総評	改善継続
	運動会前のかっこ教室。加速、カーブ、反応等の練習のほか、練習前後のタイム測定で効果を測る実践的な教室。		会場	総合体育館	総合体育館	走りの基礎を中心に、押さえるべきポイントを1時間程度の集中練習を行い、即実践できるので有効性が高い。 春季に続き2回目の秋季開催。 参加料金の手数料(10%)収入のため、経費負担少なく実施ができたが、参加人数に課題。 PR方法に改善を施し、SNS等を使って幅広く募集していく。	
			開催日	未定	全4回		
			人数		9人		
			参加料/人		2,200		
			参加料収入	0	6,160		
			その他収入	0	0		
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	支出	0	7,600	計画比	A
			差額	0	-1,440	予算比	B
30	シニアテニス教室		開催方法	主催	主催	総評	改善継続
	55歳以上の市民を対象に、無理ない運動やトレーニング方法を紹介しながら、安全で楽しいテニス教室に触れ、健康的な生活習慣づくりのきっかけをつくる。		会場	茅ヶ崎公園	茅ヶ崎公園	本教室では、ストレッチ等のトレーニングを取り入れることにより、シニア世代が無理なく安全にテニスに取り組める環境を整え、健康の維持増進および健康テニスの普及を図った。 新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数は一時、定員の半数以下まで減少したが、段階的な周知方法等改善の結果、現在は回復傾向にある。	
			開催日or回数	全4回	全4回		
			人数	24人	18人		
			参加料/人	6,000	6,000		
			参加料収入	144,000	108,000		
			その他収入	0	0		
	テーマ	C:生涯健康長生きプログラム (高齢者向き型)	支出	120,000	120,000	計画比	B
			差額	24,000	-12,000	予算比	B
31	神奈川県女子フットサル大会		開催方法	共催	共催	総評	継続
	学生チームから県内強豪チームまで参加でき、およそ15チームによるトーナメント戦を開催し、競技及び「観るスポーツ」の普及を図る。		会場	総合体育館	総合体育館	学生から社会人までを対象としたトーナメント形式の大会を開催し、競技レベルの高い試合を観戦できる機会を提供することで、スポーツへの関心・理解の向上を図った。実施にあたっては、神奈川県フットサル連盟の協力を得ることで、主催者側の費用負担なく実施することができた。観戦は無料とし、参加チーム関係者をはじめ、フットサル愛好者や家族等、幅広い層の来場が見られた。	
			開催日or回数	11/1(土)・2(日)	11/1(土)・2(日)		
			人数	8チーム	7チーム		
			参加料/人				
			参加料収入	0	0		
			その他収入	0	0		
	テーマ	F:トップアスリートとの触れ合い創出プログラム	支出	10,000	7,600	計画比	B
			差額	-10,000	-7,600	予算比	A
32	ユニバーサルスポーツフェスティバル		開催方法	主催	主催	総評	継続
	障害の有無や体力・体格等に関係なく実践できるスポーツを介して市民交流の機会を提供。		会場	総合体育館	総合体育館	本イベントは、コロナ禍や改修工事閉館等を経て6年ぶりの開催。ニュースポーツ体験のほかに、小和田小学校児童によるインクルーシブをテーマとした展示企画は、来場者から好評を得るとともに、スポーツ体験と併せて障害理解を促進する機会となった。関係機関・団体およびボランティアとの連携により、誰もが参加しやすい環境づくりが図られた。	
			開催日or回数	11月8日	11月8日		
			人数	100人	250人		
			参加料/人	0	0		
			参加料収入	0	0		
			その他収入	0	0		
	テーマ	G:パラスポーツ普及プログラム	支出	320,000	326,600	計画比	A
			差額	-320,000	-326,600	予算比	B

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価		
			主催	主催	総評	継続	
33	中高年齢者の転倒事故防止運動		開催方法	主催	主催	総評	継続
	中高年齢者の方を対象とした、転ばないための筋力・体力アップと、万が一転んでしまった時のダメージの少ない転び方について学ぶ教室。		会場	未定	総合体育館	転倒予防を目的として、柔道の受身動作を中心とした運動プログラムを実施した。本事業は、中高年齢者の健康維持および健康増進への関心が高まる中において、有効性の高い取り組みである。なお、本事業は茅ヶ崎市柔道協会との連携・協力のもと実施しており、本年度においては2回目の開催となる。	
			開催日or回数	未定	11月9日(土)		
			人数		24人		
			参加料/人		0		
			参加料収入	0	0		
			その他収入		0		
			支出	0	7,600	計画比	A
	テーマ C:生涯健康長生きプログラム(高齢者向き型)		差額	0	-7,600	予算比	B
34	朝活ワンコインテニスサポート		開催方法	主催	主催	総評	継続
	早朝のテニスコートを使い、ワンコインで気軽に参加できるタイプのテニス教室。朝の時間を趣味で有効活用するための企画。		会場	柳島しおさい公園	柳島しおさい公園	早朝利用区分の特性を活用し、当日参加が可能な参加形態と、継続受講による技術向上の双方に対応した教室として実施した。近年は事業としての定着が進んでおり、運営面においても収支バランスの改善傾向が見られる。また、年齢や経験を限定せず、幅広い層を対象に募集・実施している。	
			回数	11回	11回		
			人数	110人	85人		
			参加料/人	500	500		
			参加料収入	55,000	42,500		
			その他収入	0	0		
			支出	0	44,000	計画比	B
	テーマ B:エンジョイライフ・個別スポーツプログラム(全世代向き・生きがい創出)		差額	55,000	-1,500	予算比	B
35	倉本寿彦選手 少年野球教室		開催方法	共催	共催	総評	
	茅ヶ崎野球協会協力のもと、元横浜DeNAベイスターズの倉本選手(萩園中出身)を迎え、市内少年野球チームの高学年を対象に倉本寿彦後援会と共催で開催		会場	茅ヶ崎公園	茅ヶ崎公園	バッティングや守備練習を中心に、基礎的な技術指導を取り入れながら、楽しさを重視した野球教室として実施。教室の終盤には現役のトップアスリートによる実演を行い、参加者が高い競技レベルに直接触れる貴重な機会を提供。また、教室終了後の質疑応答では、プロ選手と直接交流する場を設け、子どもたちの競技意欲やスポーツへの関心を高める事業となった。	
			開催日or回数	未定	1月10日(土)		
			人数		40人		
			参加料/人		0		
			参加料収入	0	0		
			その他収入				
			支出	0	0	計画比	A
	テーマ F:トップアスリートとの触れ合い創出プログラム		差額	0	0	予算比	A
36	湘南ユナイテッドBCバスケットボール教室		開催方法	共催	共催	総評	継続
	地元湘南のバスケットボールチーム「湘南ユナイテッドBC」スタッフによるハイレベルなバスケットボール教室を共催で開催し、小・中学生にむけてバスケットボール技術向上を目指す。また、初心者への対応も行い、スポーツに触れるきっかけづくりにつなげることで市内スポーツの振興を図る。通年開催(週1回金曜日)月謝制。収入は参加料の35%を手数料収入として共催相手から受領。		会場	総合体育館	総合体育館	プロチームスタッフによるハイレベルなバスケットボール教室。4年目の本年は、初めて前年度比減収(前年度1,380,226円で約7%減)であるものの、引き続き安定した収益が見込める事業として定着している。(月謝制で35%の手数料収益を確保)	
			開催日or回数	48回	48回		
			人数	60人	55人		
			参加料/人	6,600	6,600		
			参加料収入	1,663,200	1,280,436		
			その他収入	0	0		
			支出	8,000	223,295	計画比	B
	テーマ F:トップアスリートとの触れ合い創出プログラム		差額	1,655,200	1,057,141	予算比	B

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要			計画	実績	評価		
37	オープン教室（冬季）		開催方法	主催	主催	総評	継続	
	平日の各曜日に、体幹トレーニング、リズム運動、ヨガ&ストレッチなど内容が異なる教室を予約不要で誰でも気軽に1回500円で参加できる。 会場は、市体育館・茅ヶ崎公園、開催時期は1～3月、各回定員は20名を予定。		会場	総合体育館ほか	総合体育館ほか	予約不要で気軽に安価に（ワンコイン500円）で）体幹トレーニング、ヨガ&ストレッチなどに参加できる。多くの方に参加していただいて春季、秋季同様収支黒字。安定的に収益があるので継続事業とする。		
			開催日or回数	15回	15回			
			人数	550人	462人			
			参加料/人	500	500			
			参加料収入	275,000	231,000			
			その他収入					
	テーマ	A:エンジョイライフ・ヘルシースポーツプログラム（全世代向き型）	支出	147,000	105,100	計画比	B	
			差額	128,000	125,900	予算比	B	
	38	ヒップホップダンススクール Vol.3		開催方法	共催	共催	総評	改善継続
ヒップホップダンスは、その素早い動きやポーズ、ダイナミックな表現から柔軟性まであらゆる特性を有しながら音楽テンポにあわせて踊りやすい、ノリやすいことから馴染みやすい。「表現運動」「リズムダンス」が小学校で必修化されているなか、子ども達のダンスへの導入口を提供。（冬季プログラム）		会場	総合体育館	総合体育館	エンターテインメント界で豊富な経験と専門的な指導技術を有する講師からハイレベルなコーチを受けられる。湘南地区で様々な教室やイベントを運営する「湘南スポーツラボ」との共催により費用負担なく実施可能。（手数料10%収入）参加人数に課題があるので、PR方法等改善を図る。			
		開催日or回数	全10回	全10回				
		人数	15人	6人				
		参加料/人	11,000	11,000				
		参加料収入	57,750	6,050				
		その他収入	0	0				
テーマ		E:ゴールデンエイジスポーツプログラム（未就学児・小学生向き）	支出	0	7,600	計画比	B	
			差額	57,750	-1,550	予算比	B	
39		キッズ体操教室③（マット運動）		開催方法	主催	主催	総評	改善継続
	子どもが苦手としているマット運動（器械体操）を中心に、楽しみながら運動に取り組むきっかけを提供。 未就学児対象・小学校低学年対象		会場	総合体育館	総合体育館	苦手な子どもが多いマット運動を中心に、楽しみながら運動ができ、苦手の解消に導く。 総合体育館改修前は満員に近い参加者があったが、再開後は減少傾向。周知が十分出なかったことが一因と考えられる。次年度は事前の周知や準備を十分に行い、参加者増加に向けて取り組む。		
			開催日or回数	全4回	全4回			
			人数	40人	23人			
			参加料/人	3,000	3,000			
			参加料収入	120,000	69,000			
			その他収入					
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム（未就学児・小学生向き）	支出	114,000	78,000	計画比	B	
			差額	6,000	-9,000	予算比	B	
	40	グラウンド・ゴルフ教室		開催方法	主催	主催	総評	継続
体の負担が少ないグラウンド・ゴルフをシニア層に推奨しながら競技の普及、柳島しおさい公園の認知度アップを図り、継続的に実施しながら地域の活性化も図っていく。		会場	柳島しおさい公園	総合体育館	体の負担も少ないのでシニア層に推奨しながら、競技認知度アップが図れる。 茅ヶ崎グラウンド・ゴルフ協会との連携、協力により安価に実施可能。 アクセスの良さと、全4回のうち1回を座学（会議室利用）に充てるため会場を総合体育館（前庭）に変更しての実施。			
		開催日or回数	全4回	全4回				
		人数	30	21人				
		参加料/人		500				
		参加料収入	0	10,500				
		その他収入		0				
テーマ		C:生涯健康長生きプログラム（高齢者向き型）	支出		7,600	計画比	B	
			差額	0	2,900	予算比	A	

実施事業一覧

公益目的事業2

1 スポーツ事業

(1) スポーツ教室事業

全44事業

No.	事業名・事業概要		計画	実績	評価		
41	幼児かけっこ教室		開催方法	主催	主催	総評	改善継続
	未就学児を対象としたかけっこ教室。はじめに体を正しく使えることを学び、走ること、運動することが好きに、得意になる楽しい練習。		会場	総合体育館	総合体育館	30分レッスンの集中型全6回コースの幼児向けの教室。走り方の姿勢やコツを教えることにより、子どもの学びながら取り組む意識の向上にもつながる事業。春季に続き2回目の秋季開催。参加料金の手数料（10%）収入のため、経費負担少なく実施できたが、参加者がいない時間帯もあり、参加人数に課題が残った。	
			回数	未定	全6回		
			人数		13人		
			参加料/人		6,600		
			参加料収入	0	8,580		
			その他収入	0	0		
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	支出	0	7,600	計画比	A
			差額	0	980	予算比	A
42	体力づくり教室		開催方法	主催	主催	総評	改善継続
	40歳以上の市民を対象にウォーキングやストレッチなど、手軽な運動で体力維持を図る。体力が衰えてきた年齢層やにシニア層に向けた運動教室。		会場	総合体育館	総合体育館	例年シニア層に多く参加をいただいて好評を得ている教室。総合体育館改修期を経て間が空いたが定員近い参加があった。定員に近い参加者数があり、シニア層におけるニーズや関心の高さがうかがえた。高齢化社会における本教室の重要性を再認識する結果となり、意義深い事業であることから、次年度も継続して実施していく。	
			開催日or回数	4回	4回		
			人数	30人	27人		
			参加料/人	1,000	1,000		
			参加料収入	30,000	27,000		
			その他収入	0	0		
	テーマ	C:生涯健康長生きプログラム (高齢者向き型)	支出	20,800	31,600	計画比	B
			差額	9,200	-4,600	予算比	B
43	小学生バレーボール教室		開催方法	共催	共催	総評	継続
	ストレッチやピラティス、ヨガといったゆったりとした動きを中心に体の疲れ解消、柔軟性の向上、体幹の強化を図る。		会場	総合体育館	総合体育館	「茅ヶ崎バレーボール協会」との共催により費用負担なく実施可能。（月謝手数料30%収入）令和8年度本格実施（春・秋・冬の3季実施予定）に向けて試行的実施。定員25人に対して満員の実績を残した。スポットコーチとしてオリンピック（ビーチバレー）出場経験者を招へいし、トップアスリートとの交流機会を提供するなど、充実した事業を実施した。	
			開催日or回数	未定	8回		
			人数		25人		
			参加料/人		6,000		
			参加料収入		130,050		
			その他収入	0	0		
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き) F:トップアスリートとの触れ合い創出プログラム	支出	0	7,600	計画比	A
			差額	0	122,450	予算比	A
44	キッズラグビー無料体験教室②		開催方法	主催	主催	総評	継続
	未就学児、小学校低学年を対象とした、初心者向け体験教室。茅ヶ崎ラグビーフットボール協会主催スクール生と共に競技に親しみ、ラグビーの魅力であるチームプレーに触れる。		会場	柳島しおさい公園	柳島しおさい公園	ラグビーを通じて体を動かすきっかけづくりに役立て、チームプレーの楽しさ、大切さに触れる。茅ヶ崎ラグビーフットボール協会の協力により経費をかけずに実施可能。小学生年代におけるラグビー競技の普及および体験機会の提供という観点から、本事業の意義は大きいことから、次年度も継続して実施。	
			開催日	未定	3月14日(土)		
			人数		9人		
			参加料/人		0		
			参加料収入	0	0		
			その他収入				
	テーマ	E:ゴールデンエイジスポーツプログラム (未就学児・小学生向き)	支出	0	0	計画比	A
			差額	0	0	予算比	A

市民文化会館利用状況（令和7年4月～令和8年3月）

施設名	使用可能日数（日）	使用日数（日）	使用率（％）	使用件数（件）	入場者数（人）
大ホール	310	243	78.4	270	157,847
小ホール	312	253	81.1	317	44,440
小計	622	496	79.7	587	202,287
展示室A	346	284	82.1	291	27,134
展示室B	346	276	79.8	281	27,220
展示室C	346	214	61.8	219	20,851
小計	1,038	774	74.6	791	75,205
第1会議室	346	300	86.7	367	7,106
第2会議室	346	275	79.5	330	6,437
第3会議室	346	308	89.0	363	7,032
第4会議室	346	279	80.6	312	7,352
第5会議室	346	171	49.4	183	2,118
大会議室	346	218	63.0	254	11,542
小計	2,076	1,551	74.7	1,809	41,587
練習室1	341	258	75.7	332	11,435
練習室2	344	330	95.9	576	10,918
練習室3	344	320	93.0	505	5,420
練習室4	346	284	82.1	390	6,043
練習室5	345	108	31.3	115	1,932
練習室6	345	116	33.6	125	2,042
小計	2,065	1,416	68.6	2,043	37,790
合計	5,801	4,237	73.0	5,230	356,869

・前年度比較（令和6年4月～令和7年3月）

施設名	使用可能日数（日）	使用日数（日）	使用率（％）	使用件数（件）	入場者数（人）
前年度合計	5,811	3,983	68.5%	5,035	312,458
比較増減	△10	254	4.5	195	44,411

市民文化会館利用料金収入（令和7年4月～令和8年3月）

（単位：円）

	基本料金A	加算料金B	減額料金C	追徴料金D	還付料金E	合計 A+B-C+D-E
	84,403,670	11,945,930	0	18,927,880	634,640	114,642,840

・前年度比較（令和6年4月～令和7年3月）

（単位：円）

	基本料金A	加算料金B	減額料金C	追徴料金D	還付料金E	合計 A+B-C+D-E
前年度合計	72,109,570	10,926,990	0	15,446,200	1,031,000	97,451,760
比較増減	12,294,100	1,018,940	0	3,481,680	△396,360	17,191,080

美術館施設利用状況(令和7年4月～令和8年3月 自主事業利用分を除く)

施設名	使用可能日数(日)	使用日数(日)	使用率(%)	使用件数(件)	使用人数(人)
展示室 2	37	34	91.9	4	1,799
展示室 3	37	36	97.3	5	1,688
アトリエ	215	69	32.1	73	1,175
合 計	289	139	48.1	82	4,662

・前年度比較

施設名	使用可能日数(日)	使用日数(日)	使用率(%)	使用件数(件)	使用人数(人)
前年度展示室 2	35	18	51.4	3	3,016
前年度展示室 3	32	22	68.8	4	1,963
前年度アトリエ	260	79	30.4	86	1,526
前年度合計	327	119	36.4	93	6,505
比較増減	△ 38	20	11.7	△ 11	△ 1,843

美術館利用料金等収入(令和7年4月～令和8年3月) (単位：円)

内 容	基本料金A	減免額B	還付額C	合 計 A-B-C
観覧料	11,521,400	1,503,200		10,018,200
年間パスポート	763,100			763,100
施設使用料	609,770	0	0	609,770
受講料	611,400			611,400
図録販売	2,775,000			2,775,000
ポストカード販売	261,300			261,300
グッズ販売	368,280			368,280
販売手数料	148,255			148,255
合 計	17,058,505	1,503,200	0	15,555,305

・前年度比較

(単位：円)

内 容	基本料金A	減免額B	還付額C	合 計 A-B-C
観覧料	27,873,200	3,267,800		24,605,400
年間パスポート	1,655,400			1,655,400
施設使用料	430,180	0	2,010	428,170
受講料	85,000			85,000
グッズ販売	1,869,880			1,869,880
販売手数料	407,524			407,524
前年度合計	32,321,184	3,267,800	2,010	29,051,374
比較増減	△ 15,262,679	△ 1,764,600	△ 2,010	△ 13,496,069

美術館展覧会観覧者数(令和7年4月～令和8年3月)

	会期日数(日)	総観覧者数(人)
令和7年度	296	25,910

・前年度比較

前年度	297	45,414
比較増減	△ 1	△ 19,504

美術館展覧会別観覧者数等

展覧会名称	会期	会期日数(日)	(前年度分)	総観覧者数(人)	(前年度分)	観覧料合計(円)	(前年度分)
美術館建築 - アートと建築が包み合うとき	4/1～6/8	60	0	7,637	0	4,492,800	800
うつわの彩り - 吉田耕三と北大路魯山人	6/17～8/24	60		5,374		3,301,500	
『白樺』日本における西洋美術の導入と広がり	9/2～11/9	60		3,454		1,612,900	
2025年度茅ヶ崎寒川地区中学校美術作品展	11/15～12/7	20		4,199		0	
菅野陽と浜田知明	12/13～2/23	58		2,411		563,400	
茅ヶ崎・寒川地区高校生アート展 芸術魂2026	2/3～2/23	19		809		0	
第43回茅ヶ崎美術家協会展	3/3～3/22	18		1,958		0	
次年度企画展(牧野邦夫展)	3/31～	1		68		47,600	
	合計	296	0	25,910	0	10,018,200	800

茅ヶ崎市茶室・書院松籟庵の事業実施状況

公益目的事業1 2美術館・松籟庵 (2) 松籟庵管理運営事業

■松籟庵施設利用状況（令和7年4月～令和8年3月）

施設名	使用可能 日数(日)	使用日数 (日)	使用率(%)	使用件数 (件)	使用人数 (人)
書 院	306	251	82.0	251	3,241
茶 室	306	82	26.8	82	1,518
合 計	612	333	54.4	333	4,759

・前年度比較

施設名	使用可能 日数(日)	使用日数 (日)	使用率(%)	使用件数 (件)	使用人数 (人)
前年度書院	303	238	78.5	238	3,189
前年度茶室	303	59	19.5	59	1,136
前年度合計	606	297	49.0	297	4,325
比較増減	6	36	5.4	36	434

■松籟庵利用料金収入（令和7年4月～令和8年3月）（単位：円）

内 容	基本料金A	減免額B	追加額C	還付額D	合 計 A-B+C-D
施設使用料	2,932,500	0	0	34,020	2,898,480
受講料	235,400				235,400
合 計	3,167,900	0	0	34,020	3,133,880

・前年度比較

（単位：円）

内 容	基本料金A	減免額B	追加額C	還付額D	合 計 A-B+C-D
施設使用料	2,622,860	0	0	23,540	2,599,320
受講料	191,100				191,100
合 計	2,813,960	0	0	23,540	2,790,420
比較増減	353,940	0	0	10,480	343,460

(2) スポーツ施設管理運営事業

体育館利用状況 (令和7年4月～令和8年3月)

施設名	利用件数(件)	利用人数(人)	個人利用(人)	使用可能 コマ数	使用 コマ数	使用率 (%)
総合体育館						
第一体育室	3,066	69,183	1,857	8,304	5,981	71.8
第二体育室	1,834	22,963	57	1,369	1,173	85.7
柔剣道場	1,354	13,370	393	2,766	1,596	57.7
弓道場	353	17,520		1,230	1,201	97.6
多目的室	1,028	7,585		1,388	1,039	74.9
オーケストラ練習室	914	11,827		1,388	955	68.8
会議室	448	7,834		2,776	728	26.2
トレーニング室			23,517			
卓球練習場			5,167			
ショッキングコース			45			
市体育館						
競技場	2,179	22,732	32	2,766	2,580	93.3
柔剣道場	859	10,527	135	1,388	889	64.0
多目的室	1,247	11,800	49	1,388	1,277	92.0
卓球練習場			7,373			
体育館合計	13,282	195,341	38,625	24,763	17,419	84.6

・前年度比較

前年度合計	5,847	85,134	12,078	8,450	7,151	84.6
比較増減	7,435	110,207	26,547	16,313	10,268	0.0

体育館利用料金

(単位:円)

施設名	利用料金 A	減免額 B	還付料金 C	合計 A-B-C
体育館				
総合体育館	35,669,740	4,856,720	138,510	30,674,510
貸出用具利用	96,800	—	—	96,800
市体育館	5,671,880	323,330	41,940	5,306,610
貸出用具利用	68,600	—	—	68,600
体育館合計	41,507,020	5,180,050	180,450	36,146,520

・前年度比較

前年度合計	8,567,150	1,081,940	28,920	7,456,290
比較増減	32,939,870	4,098,110	151,530	28,690,230

体育施設利用状況（令和7年4月～令和8年3月）

施設名	利用件数(件)	利用人数(人)	使用可能 コマ数	使用 コマ数	使用率 (%)
茅ヶ崎公園					
野 球 場	379	21,145	849	538	63.4
庭 球 場	4,028	26,761	4,680	4,373	93.5
会 議 室	289	4,808	1,406	341	24.3
芹沢スポーツ広場					
蹴 球 兼 野 球 場	316	10,054	855	407	47.6
庭 球 場	3,886	24,141	4,592	3,886	84.6
堤スポーツ広場					
多 目 的 球 技 場	324	4,563	1,301	324	25.0
庭 球 場	3,553	18,591	4,456	3,583	80.4
柳島しおさい公園					
少 年 蹴 球 場	571	16,944	1,699	735	43.3
庭 球 場	4,046	19,146	5,828	4,076	69.9
体育施設合計	17,392	146,153	25,666	18,263	72.6
・前年度比較					
前年度合計	17,908	148,536	25,811	18,745	72.6
比較増減	△ 516	△ 2,383	△ 145	△ 482	0.0

体育施設利用料金

(単位:円)

施設名	利用料金 A	減免額 B	還付料金 C	合計 A-B-C
茅ヶ崎公園				
野 球 場	4,766,690	1,964,180	377,540	2,424,970
庭 球 場	5,329,000	434,640	435,040	4,459,320
会 議 室	365,040	113,360	0	251,680
駐 車 場	17,634,770	—	—	17,634,770
貸 出 用 具 利 用	4,200	—	—	4,200
芹沢スポーツ広場				
蹴 球 兼 野 球 場	783,360	199,920	116,860	466,580
庭 球 場	4,941,870	0	465,680	4,476,190
貸 出 用 具 利 用	600	—	—	600
堤スポーツ広場				
多 目 的 競 技 場	871,520	0	41,390	830,130
庭 球 場	4,630,180	32,960	474,980	4,122,240
貸 出 用 具 利 用	0	—	—	0
柳島しおさい公園				
少 年 蹴 球 場	2,171,480	624,450	83,620	1,463,410
庭 球 場	5,303,110	57,130	473,670	4,772,310
駐 車 場	8,047,400	—	—	8,047,400
貸 出 用 具 利 用	9,000	—	—	9,000
体育施設合計	54,858,220	3,426,640	2,468,780	48,962,800
・前年度比較				
前年度合計	54,593,890	3,202,010	2,885,580	48,506,300
比較増減	264,330	224,630	△ 416,800	456,500

柳島しおさい公園利用状況（令和7年4月～令和8年3月）

公 園 利 用	60,779
多 目 的 広 場	14,579
ミニバスケットコート	8,604
合 計	83,962

・前年度比較

前年度合計	97,831
比較増減	△ 13,869

収益目的事業 1 物品販売事業

物品販売事業収入

（単位：円）

施設名	タオル	卓球ボール	シャツル	テニスボール	その他	合計
総合体育館	116,700	14,400	7,740	—	30	138,870
市体育館	10,500	19,500	540	—	0	30,540
茅ヶ崎公園	171,700	—	—	4,000	0	175,700
芹沢スポーツ広場	8,100	—	—	800	0	8,900
堤スポーツ広場	1,500	—	—	0	0	1,500
柳島しおさい公園	21,300	—	—	6,400	1,000	28,700
文化会館	202,900	—	—	—	—	202,900
合 計	532,700	33,900	8,280	11,200	1,030	587,110

・前年度比較

前年度合計	522,300	21,400	360	11,000	60	555,120
比較増減	10,400	12,500	7,920	200	970	31,990